

平成30年度
さいたま市教科用図書調査専門員会
報告書

さいたま市教育委員会

中学校 特別の教科 道徳 調査資料 作成の観点

項 目	観 点
教育基本法、学校教育法の下での学習指導要領における教科の目標とのかわり	<ul style="list-style-type: none"> ○道徳的価値の意義及びその大切さなどを自分との関わりで理解させるために、どのような工夫がされているか。 ○自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深めさせるために、どのような工夫がされているか。 ○自立した人間として他者とよりよく生きるための基盤となる道徳性（道徳的判断力、道徳的心情、道徳的実践意欲と態度）を育成するために、どのような工夫がされているか。
特 色	<p><「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○考えを深め、判断し、表現する力などをはぐくむことができるよう、自分の考えを基に話し合ったり書いたりするなどの言語活動を充実するために、どのような工夫がされているか。 ○児童生徒が道徳的価値について主体的に考えることができるよう、問題解決的な学習や体験的な学習に関して、どのような工夫がされているか。 <p><発達段階に即しつつ、深く考えさせ、ねらいを達成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○発達段階に即し、ねらいを達成する上で、どのような工夫がされているか。 ○深く考えることができ、人間としてよりよく生きる喜びや勇気を与えるために、どのような工夫がされているか。 <p><現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○現代的な課題についてどのように取り上げ、その解決に向けて考え続ける意欲や態度を育てるために、どのような工夫がされているか。 ○問題意識をもって多面的・多角的に考えたり、感動を覚えたりするために、どのような工夫がされているか。 <p><さいたま市の目指す子ども像の具現化に向けた工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○生命の尊さを感じ、自然を愛し、美しいものに感動する心を育てるために、どのような工夫がされているか。 ○互いの人格を尊重し合える態度等、心の通う対人関係を構築する能力の素地を養うために、どのような工夫がされているか。 ○一人ひとりの社会的・職業的自立に向けて必要な能力等を育てるために、どのような工夫がされているか。 ○家族との触れ合いや地域における体験活動等、学校と家庭・地域の連携の充実のために、どのような工夫がされているか。
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○学習意欲を喚起するために、読み物教材には、どのような工夫がされているか。 ○効果的に活用するために、挿絵や写真、図などには、どのような工夫がされているか。
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○教材の内容を把握しやすくさせるために、仮名遣いや用語などについて、どのような工夫がされているか。 ○主な記述（読み物教材など）と道徳科の内容項目との関係の示し方について、どのような工夫がされているか。
総 括	(全体的な特徴、その他)

(中学校 特別の教科 道徳)

項目 発行者	教育基本法、学校教育法の下での学習指導要領 における教科の目標とのかかわり	特 色	
		内 容	
2 東京 書籍	<ul style="list-style-type: none"> 冒頭にオリエンテーションのページがあり、道徳で何を学ぶのかが、分かりやすく示されている。 どの教材にも、「つぶやき」としてメモ欄が設けられていて、考えたことが書けるようになっていて。教材の末尾には、道徳的価値を考える問いと、自分を見つめ直す問いがある。 巻末付録として、ホワイトボード用紙があり、話し合い活動を効果的に行えるように工夫している。また、巻末に切り取り式の自己評価シートがあり、評価材料として活用できるようになっている。 重点化する価値項目の「公平公正」「生命尊重」については連続して授業を行う総合単元的な設定となっている。 各学年に2か所、役割演技を主体とした活動「Action」が用意されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「話し合いの手引き」を巻頭に掲載し、授業の進め方の道筋を示しており、役割演技を主体とした活動も取り入れられている。 各教材に1か所、「つぶやき」コーナーが設けられている。教材を学習しながら、思ったことや考えたことなどを、生徒が教科書に書き込めるようになっていて、振り返りが容易である。 スポーツや震災について考える教材が掲載されている。また、漫画や新聞などを題材として取り上げている。 30の内容項目ごとの教材と5の付録教材の構成となっている。 「いじめ」「命を考える」両テーマについては総合単元的に構成し、連続2時間で行い、生徒の考えを深めることをねらっている。 資料には「アクション」として役割演技を取り入れたものや、教材で学習した内容を広げる「プラス」のページがある。 	
11 学校 図書	<ul style="list-style-type: none"> 教材ごとに学習指導要領の4つの視点をマークで示し、ねらいが明確になっている。 「読み物」は、主題を題名の前に提示している。 巻頭に「プラス思考でアドバイス」として、道徳の時間の学習の進め方についてのオリエンテーションのページがある。 全教材の末尾に「学びにむかうために」として、自分で考え・意見交換し、議論する活動の流れが示されている。そして、問の最後には、自分を見つめ直す問いがある。 「学びの記録」として、評価シートがあり3学期分あり、評価材料として活用できるようになっている。 巻末に生徒の成長を見ることができる振り返りシートと、保護者に向けて、道徳の授業でどのようなことに対して考えを深めようとしているかを説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> 冒頭に、「道徳の学習をはじめよう」と「学級作り」の2つのオリエンテーションのページがある。 「心の扉」で、道徳的価値について深めることができる。 各教材の末尾に「学びに向かうために」の中で「考えよう」「意見交換」が設けられており、学びを深めるように工夫されている。 1年間の学校生活の流れに沿って、教材が配置されており、振り返りを記入するページが用意されている。 いじめや安全などの課題に、正面から取り組む内容項目が用意されている。 巻末に「学びの記録」のページがあり、1年間の心の成長が自分で振り返ることができるようになっていて。 オリンピックに関する教材で、生徒の興味関心をひくことができる。(東京オリンピックに関して) 情報モラルに関する教材は身近な課題で、これを取り上げることで興味関心をひき、より深く考えることができる。 	

(中学校 特別の教科 道徳)

項目 発行者	特 色		総 括
	資 料	表記・表現	
2 東京 書籍	<ul style="list-style-type: none"> 1年に、さいたま市関連資料「見沼に降る星」がある。 迫力の欲しい教材では臨場感を出すために写真を大きくしている。 資料には複数のイラストや写真が載せられ、内容理解を助けている。 資料には題名のほかに話し合う視点を先に表している。 世界で活躍する人にかかわる教材、詩を基に考えさせる教材、複数の意見がでる教材、東日本大震災を扱った教材など多様な内容を扱っている。 	<ul style="list-style-type: none"> A B判で行間にゆとりがあり、読みやすい。 教材の冒頭に、4つの視点のどの視点に当てはまるか示している。また、索引は色分け・マークをつけ、内容項目と4つの視点を区別している。 難解な漢字にはふりがなが付されており、必要な情報については脚注で解説がつけられている。 考えるテーマが色やイラストでわかりやすく示されている。 他教科との関連についても各教材タイトルのページ下に示してある。 	<ul style="list-style-type: none"> さいたま市に関連ある教材「見沼に降る星」が掲載されている。 教材の冒頭で内容項目を分かりやすい言葉で示しており、色や図で4つの視点を表している。教材の末尾には「考えてみよう」として、話し合いの中心となる発問や自己を見つめる発問がある。 生徒の問題意識を大切にし、教材の冒頭には、題名及びわかりやすいイラスト等がある。また、末尾には、自己の生き方を見つめ直す問がある。問題解決的な学習に適した教材の後には、「Action」などがあり、役割演技などが設定され、学習内容を自分のこととして捉えられるように工夫されている。 いじめ問題対応ユニットと生命尊重ユニットを設定し、いじめ問題とこのちの大切さについて、多面的・多角的に考えられるよう工夫されている。
11 学校 図書	<ul style="list-style-type: none"> 文字が大きく書かれ、イラストや写真が多く見やすい。 情報モラルの教材では、漫画を使い分かりやすくなっている。 かけがえのない生命の尊重を最重点項目として、各学年複数の感動を覚える教材が用意されている。 「人・社会」とのつながりを考える上で、「情報化への対応、情報モラル」「社会参画」を重要な課題ととらえ、資料が選定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> A B判で大きく、文字と文字の間隔を広くとっており、読みやすい。 使われている文字はフォントが大きく読みやすい。 全教材の冒頭に、4つの視点のどの視点に当てはまるか示している。また、索引は色分け・マークをつけ、内容項目と4つの視点をそれぞれ区別している。 各教材ほぼすべての未習漢字にはふりがなが付され、脚注に解説がつけられている。 	<ul style="list-style-type: none"> 資料の冒頭に「主題」が示されており、末尾にはねらいに即した学習活動を活発にする問いや「振り返ろう」で記録を残す構成になっている。 難解な語句には、下段に説明があり、字の大きさも大きく見やすい。 発問に「考えよう」「意見交換」「見つめよう」と表すマークを置いて活動が分かりやすい。 学期ごとに4つの視点の学習がされるよう、バランス良く教材配列をしている。 各学年ともに、「公正・公平・社会正義」の内容項目において意識的に教材を選定し、いじめにつながる問題に正対して考えるよう配慮されている。 現代的な課題に関する資料が多数用意され、自分のことと置き換えて考えることができる。 互いを尊重し合う学級集団形成のための「学級づくり」ページが、各学年冒頭に配置されている。 巻末に、「保護者の方へ」のページを設け、学習内容を解説して家庭教育との連携を図っている。

(中学校 特別の教科 道徳)

項目 発行者	教育基本法、学校教育法の下での学習指導要領 における教科の目標とのかかわり	特 色	
		内 容	
17 教育 出版	<ul style="list-style-type: none"> 冒頭に「中学生の道徳が始まる」として、全体の流れが示されており、道徳の学習の進め方についてのオリエンテーションがあり、授業の組み立てがしやすい。 教材の冒頭には「導入」の文章を設け、学習のねらいを明確にして教材内容に入ることができるようにしている。 教材の末尾には「学びの道しるべ」を設けている。教材理解だけでなく物事を自分にひきつけて考えたり、多面的・多角的に考えたりする際の助けとなる発問が示されている。 4つの視点について、目次や各教材の冒頭に色分けで示されていることで、明確になって、授業のしやすい工夫となっている。 「学びの記録」として、評価シートが内容項目ごとと自己評価が三学期分あり、評価材料として活用できるようになっている。 全教材の末尾に、道徳的価値について深く考える問が示されている。特に最後の問は、自分を見つめ直す問となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 目次では、題材ごとに色分けをし、30の教材と5つの補充教材の構成となっている。 「やってみよう」というコーナーで、役割演技をしながら体験的に、それぞれの立場について考え、話し合うことができるように工夫されている。 見通しをもって授業に取り組めるよう、全教材ごとに問いかけを工夫している。 「問題解決的な学習」を取り入れられる教材が複数ある。 現代的な課題に関わる教材を積極的に取り上げている。答えが一つでなはない課題に向き合い、より良い在り方を求め続けていく力を養える学習内容である。 道徳の学習を通して特に深く考えさせたい重点テーマ「生命の尊さ、いじめ、情報」を設けている。 1年の教科書には毛呂山町出身の水泳選手・瀬戸 大也さん、2年の教科書にさいたま市にゆかりのある詩人「宮澤章二」氏など埼玉県に関連した教材が2つ入っており、興味・関心をもって取り組める。また、巻末に「都道府県にゆかりのある人物とその言葉」を掲載している。 	
38 光 村 図 書	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領で示されている内容項目を簡潔な問いにして、「22個の鍵」で示した「道徳の時間に学ぶこと」を設けている。 巻頭に、道徳の時間の学習の進め方についてのオリエンテーションのページがある。 教材の冒頭に主題があり、末尾に「学びのテーマ」として、自分で考え・意見交換し、議論する活動の流れが示されている。 「私の気づき」として、自分の変容を実感できるように、その一時間で感じたことを書く欄がある。 各資料の後ろに「つなげよう」のページがあり、他教科や学校生活との関連、同じ内容項目の他教材との関連、関連図書の紹介等を教材の特質に合わせて示している。 巻末に、「学びの記録」があり生徒自身が自由に書き留めておくことのできるページになっており、成長の足跡が残せるようになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの教材の冒頭に主題を設定し、学びに向かう姿勢をつくるようにしている。 教材ごとに考えるテーマを提示し、自分で考え、話し合いを通して他者の考えを知り、さらに深めていけるように工夫されている。 「学びのテーマ」を定め、生徒が教材を通して何を学ぶかをはっきりと意識できるよう示している。考える観点、つなげようで発問が掲載されている。さらに、気づきのノート欄があり書き込むことができる。 1年間の学校生活を4つのシーズンに分けて、教材が配置され、それぞれにテーマが設定されている。 全学年のシーズン1の終わりに、道徳的行動に関する体験的な学習として、人とよりよい関係を築くための「こつ」を身につける取り組みを提示している。 全学年の付録に、各分野で活躍している人物から生徒に向けたメッセージを掲載している。 全学年を通して、特に「生命を大切に作る心」の育成に重点を置き、「生命の尊さ」に関する教材をどの学年にも3つずつ掲載している。 	

(中学校 特別の教科 道徳)

項目 発行者	特 色		総 括
	資 料	表記・表現	
17 教育 出版	<ul style="list-style-type: none"> 現在活躍中のロケット開発者やイチロー選手等の生き方が紹介されている。 登場人物が判断を迫られる場面の教材や、異なる立場からの意見を取り上げた教材、社会の変化や動向を素材とした教材を取り入れている。 礼儀の形や意味についての理解を深め、日常生活での道徳的行動や習慣に結びつけることができる資料がある。 自分の将来に対する目標や理想をもち、それに向かって挑戦していく態度、進んで社会的な責任を果たしていこうとする態度を培う教材を掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> B5判で持ちやすく軽い。 イラストや写真が多く、コンパクトにまとまっている。 文字と文字の間に間があり、上下の空間が広くとってある。 教材の冒頭に、4つの視点のどの視点に当てはまるか示している。また、索引は色分け・マークをつけ、内容項目と4つの視点をそれぞれ区別している。 未習の漢字にはふりがなが付けられており、脚注には解説や必要な説明がある。 文章の改行位置を工夫し、教材の内容理解がしやすいようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> B5判でコンパクトなつくりになっている。 各教材の冒頭に、本時の授業で考えて行く方向を示す、投げかけの言葉が載せてある。また、末尾には「学びの道しるべ」として、三部構成となる発問を通して、道徳的価値について気づき、深く考える問がある。 イラスト等は、落ち着いた色調を用いて、生徒が資料の内容にじっくりと向き合えるようになっている。 現代社会に対する問題を多く取り入れた構成になっている。主体的に問題解決的な学習を促す構成になっている。 「生命尊重」「いじめや差別」「情報モラル」など現代的な課題を話し合う資料が豊富にある。 道徳的実践力の育成につながるように「問題解決的な学習」を取り入れられる教材が複数ある。 巻末に学期ごとに振り返りを記入するページがあり、生徒が自身の成長を自己評価できるようになっている。
38 光 村 図 書	<ul style="list-style-type: none"> 同年代の登場人物の資料や伝記の先人、各界で活躍した人が悩んだり葛藤を乗り越えたりする姿など生徒の心を捉える資料がある。 いじめや生命の尊さ、情報モラル、地域や伝統継承など現代的な問題に対応した資料が載せられている。 大きなテーマごとに「コラム※7つのテーマ」で考えるヒントが示されている。 「先人の言葉」では、話し合い活動やグループ活動が豊かになるよう工夫がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> 持ち運びしやすいB5判の大きさで、紙の質が柔らかく薄い。カラーページが豊富である。 教材の冒頭に、内容項目のマークだけを載せ、マークの色合いも工夫している。 常用漢字にはすべて振り仮名を振っている。 話の区切りや感情の表現やコメント等を分かりやすくするために、改行や色わけなどを工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校生活と関連づけ、1年間で4つのまとまりとして構成している。 B5判で持ち運びやすくなっている。 各教材の末尾に「学びのテーマ」として、考える観点を設定し、さらに「見方を変えて」考え、「つなげよう」でこれから実践していけるように工夫されている。 内容については7つのテーマを設け、教材との関連を示している。 「コラム」や「学びの広場」で補助教材を掲載していて、テーマに併せて取り組めるようにしている。 教材の冒頭に「主題」があり、末尾には考え・議論する活動を活発にする流れが示されている。また、他の教材との関わりを示し、深めるための工夫がされている。 全体的に色合いを抑えてあり、ユニバーサルデザインの視点を軸に構成されている。

(中学校 特別の教科 道徳)

項目 発行者	教育基本法、学校教育法の下での学習指導要領 における教科の目標とのかかわり	特 色	
		内 容	
116 日 本 文 教 出 版	<ul style="list-style-type: none"> ・「読み物」と「道徳ノート」の2冊で構成され、考え議論する道徳、主体的で深い学びを目指す構成となっている。 ・「道徳ノート」には「考えてみよう」「自分に+ワン」の記入欄があり、主題に迫る発問や自己を見つめる発問がある。 ・内容項目ごとに色分けをし、導入・発展・充実と教材の配列をし、テーマを目次に明示している。 ・「道徳科で学ぶこと」「学び方」がオリエンテーションとして、写真やイラストでわかりやすく紹介されている。 ・1年間で学ぶテーマを明示し、内容項目がバランスよく配置してある。 ・「プラットフォーム」として、重要なテーマにはコラムを配列している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の学びと教師の指導の参考例となるよう、「学習の進め方」のページを設けている。また、道徳ノートと併用することで言語活動を充実させ、多面的・多角的に「考え、議論する道徳」を実現できるようにしている。 ・教材ごとに、主題名を題名の上、登場人物をわかりやすく明記している。考えてみようや自分に+1でねらいせまる構成となっている。 ・道徳ノートで自分の考えを記入し、授業の振り返りをすることができる。 ・プラットフォームで、題材ごとに立ち止まり、別の視点から改めて考えて道徳的価値をとらえることができる。 ・「いじめと向き合う」というテーマで、さまざまな題材を通して考え、話し合う工夫がされている。 ・「言葉のプレゼント」を贈り合うなどソーシャルスキルの体験ページが複数ある。 ・いじめに向き合う心を育てるために、いじめ防止の内容を集中的に取り上げ、定着を図れる工夫がある。 	
224 学 研 教 育 み ら い	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に「道徳で学ぶこと・考えること」「考えを深める4つのポイント」を提示して、道徳で学ぶポイントがわかりやすく紹介されている。 ・主題名をあえて教材に含めないことで、特定の価値観をおしつけることなく、生徒の問題意識を大切に構・展開になっている。 ・題材ごとに「深めよう」「クローズアップ」があり、多様な学びや道徳的価値について一層考えるように意識されている。 ・物事を多面的・多角的に考え、議論することができるように、異なる複数の意見の提示や関連情報がある。 ・「My Profile」では、道徳心を培うために自分について考える機会を位置付け、折に触れて振り返り、自分の成長を確認できる工夫がされている。 ・役割演技を通じて、考えたことを話し合い深めていくなど、多様な学び方のページがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭の「My Profile」から、自分自身を見つめ1年間終わった後に「心の四季」でふさわしい言葉を記入することで、生徒自身が成長した自分に気づくことができる。 ・各教材末尾や特設ページ「深めよう」に設問があり、生徒が主体的に考えを広げ、深められるような学習内容になっている。 ・「深めよう」として、問題解決的な学習を教材と関連させ、授業が進められるようになっている。 ・「いじめ防止」と「生命尊重」を重点にした、多様な教材を載せていて、多面的・多角的に考えられるように配置されている。 ・資料の後に「クローズアップ」として、自分を見つめて自分の言葉で書き込めるページが複数ある。 ・全学年にわたって、「D生命の尊さ」の教材が3点あり、生命の尊さについて、3年間に渡って系統的に考えを深化させることができる。 ・全学年にわたって、いじめに関する特設ページが設けられている。 	

(中学校 特別の教科 道徳)

項目 発行者	特 色		総 括
	資 料	表記・表現	
116 日 本 文 教 出 版	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめについて7つの教材を掲載してあり、時期によって取り上げることができる。 ・現在活躍している人物の生き方の紹介もあるが、以前から親しまれてきた定番の読み物教材も多く取り入れられている。 ・問題解決的な学習では、生徒の学びと教師の指導の参考例があり、わかりやすい工夫がある。 ・発達の段階を踏まえて、家庭・学校・社会の幅広い分野がバランスよく配列されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの写真やイラスト、マンガなどが見やすく配置されて分かりやすい。 ・カラーページが資料や挿絵に多く使われていて内容を読み取る手助けとなっている。 ・教材の冒頭に、4つの視点のどの視点に当てはまるか示している。また、索引は色分けし、内容項目と4つの視点をそれぞれ区別している。 ・ユニバーサルデザインに対応した書体で、文字の大きさや罫線や囲みの使い方、レイアウトが工夫されていて範読しやすい表記になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭には学年の大テーマを掲載し、1年間の学びに期待をもち、展望が見える工夫がある ・教材の末尾に「考えてみよう」と「自分に+1」というコーナーが設けられ、考え方のヒントが示され、「道徳ノート」とも整合性が図れている。また、道徳ノートの「自己評価」の欄は、教師側の学習状況の確認や生徒の成長の評価に活用できる。 ・中学で習う語句には、ふりがながあり、写真も多く、生徒の理解を助ける工夫がある。 ・いじめ防止を重要なテーマとして、複数の教材を載せ、「プラットフォーム」も多く配置し、多角的多面的に考えを深め、道徳的価値の定着を図る工夫がある。 ・重要なテーマには、教材とコラムを配置し、生徒の実態に応じた授業を展開できるように工夫している。 ・教科書と付属の道徳ノートが共に、B5判の大きさに統一されている。
224 学 研 教 育 み ら い	<ul style="list-style-type: none"> ・2年に、元県教育長・藤井均氏「美しい花の顔」の作品がある。 ・「クローズアップ プラス」でさまざまな資料を紹介したり、問題を提起したりして、考えや視野を広げていくコーナーを設けている。 ・世界で活躍した人物やスポーツ選手などを扱った教材がある。 ・いのちといじめについて多く取り上げてありくクローズアップ・プラス、話し合いをし、深め合うことのできる内容である。 ・「登場人物を自由に演じてみよう」というページで役割演技に取り組める資料がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・A4判で、ゆとりのある構成になっている。下段に、言葉の意味を載せてあり、生徒の学習の支援となる。 ・教材ごとに、4つの視点をマークの色で示している。索引は、4つの視点と内容項目ごとに分類されている。 ・印象的な挿絵や写真が適所に配置され、興味・関心をもって学習が進められる工夫がある。 ・中学校に配当されている漢字及び常用漢字にはふりがながふられている。 ・本文の記述は、読みやすさを考えた改行など、理解しやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・元県教育長・藤井氏の作品や世界的に活躍している人物やスポーツ選手の資料を扱い、生徒の道徳性をバランスよく育成するつくりになっている。 ・「いじめ防止」と生命尊重に重きを置き、複数の教材があり、3年間に渡って、多面的・多角的に考えられるようになっている。 ・生徒の問題意識を大切に、教材の冒頭は題名のみとしている。資料の最後に、教材を通して、道徳的価値を考える間がある。 ・問題解決的な学習に適した教材やさらに深められる教材には、「深めよう」「クローズアップ」として、多様な学びを促すページがある。 ・クローズアップで多角的な考えをもち、深めようで話し合い活動を取り入れることができる内容となっている。 ・高梨沙良、稀勢の里や松井秀喜、長谷部誠。高倉健や山中伸弥など一流スポーツ選手や話題の人が資料として取り上げられていて、生徒が意欲的に学習に取り組むと考えられる。

(中学校 特別の教科 道徳)

項目 発行者	教育基本法、学校教育法の下での学習指導要領 における教科の目標とのかかわり	特 色
		内 容
232 廣 濟 堂 あ か つ き	<ul style="list-style-type: none"> ・「読み物」と「道徳ノート」の2冊で構成されている。書くことと話すことの両方を通して道徳的思考を深める、相互方向での学習をねらいとしている。 ・「道徳ノート」には、巻頭に自分の記録が残せるページがあり、道徳的価値と関連のある問いや資料が掲載されている。 ・巻頭に題材や道徳の時間の方向づけを促す内容が掲載されている。 ・教材の末尾の「考える・話し合う」には、「学習の手がかり」として発達の段階に応じたためあてや問が提示されている。 ・教材ごとに学習の手がかりとなる「考える・話し合う」が配置され、生徒の主体的な思考、対話的な活動を促す構成で、学習の方向性や道徳的価値を考える問がある。 ・道徳ノートの巻末に自己を振り返り、自己評価できるページや話し合い活動の記録・授業の記録を記入するページがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての教材の終わりに名言を掲載し、生徒の考えをより深めることができる。 ・生徒が自ら課題意識や問題追及への意欲を高め、主体的・対話的に学習に取り組むことができるよう、教材ごとに「考える・話し合う」が設けられている。 ・「学習のてがかり」の間では、資料についての道徳的な価値について深く考えた後に、自らを振り返るとともに、今後の望ましい在り方を自ら考える流れになっている。「考えを広げる・深める」では自分を振り返る発問や体験的な活動について示している。 ・情報機器と私たち、持続可能社会といった現代的な課題について、巻末に資料を別記している。 ・学習意欲を喚起する写真や、物事を広い視野から多面的・多角的に捉えるための図やグラフ、先人の逸話や言葉など、さまざまな資料が掲載されている。 <p style="text-align: center;">〈道徳ノートの全ての解説の下段〉</p>
233 日 本 教 科 書	<ul style="list-style-type: none"> ・4つの視点ごとに、順番に教材が配列されている。 ・巻頭に「道徳科って何を学ぶの?」「教科書の使い方」として、道徳の時間の学習の進め方についてのオリエンテーションがある。 ・教材ごとの末尾に「考え、話し合ってみよう、そして深めよう」として、自分で考え・意見交換し、議論する活動の流れが示されている。そして、問の最後には、自分を見つめ直す問がある。 ・「考え議論する道徳」を目指した話し合いができる資料が設定されている。 ・巻末ページに「振り返りましょう」「私の道徳記録」のページがあり、「道徳科」で自分が育んできたのを、改めて客観的に確認し、これからの人生に向けての思いを確認できるつくりになっている。 ・巻末に「学習指導要領対応表」として、題材をテーマごとにまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の教材の掲載順序が内容項目の通りになっている。 ・生徒の身近な事例や様々な意見等を載せた教材があり「考え、議論する」道徳授業の進め方が意識され、道徳性を支える資質・能力を育成する構成になっている。 ・先人の生き方から、自己の生き方を見つめなおす学習内容になっている。 ・一つの内容項目の中に、いくつかの題材が配置されている。また、連続しているので、学校の実態に即して重点的に学習できるようになっている。 ・全ての資料の後に話し合いの柱となる3つの発問が添えられている。 ・日本の伝統文化、そして他国を尊重する心を育む内容になっている。 ・社会参画への意欲や態度を育むものになっている。

(中学校 特別の教科 道徳)

項目 発行者	特 色		総 括
	資 料	表記・表現	
232 廣 濟 堂 あ か つ き	<ul style="list-style-type: none"> ・2年教材に市ゆかりの宇治達郎医師を始めとして、スポーツや様々なジャンルで活躍する人々が資料として掲載されている。 ・全ての教材に関連した内容の「解説」(学習の内容の「解説」)や格言などが紹介されている。 ・「道徳ノート」には、題材について考える際の参考資料や題材、写真が掲載されている。 ・自分の考えを記録に残していけるように、「道徳ノート」にたっぷりスペースが設けられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・A B判で紙面にゆとりがあり、白を基調とした構成になっている。 ・4つの視点を色分けして教材ごとに示し、巻末には内容項目別の一覧表が示されている。 ・道徳ノートでは、必ず左側ページが自分で書くスペースになっていて、ユニバーサルデザインを意識した構成になっている。 ・配当漢字及び、未習の漢字については、すべてにふりがながふられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書と道徳ノートの2冊構成になっており、ノートに振り返りや話し合い、学習の記録などを残すことができる。 ・分冊化された道徳ノートを用いた授業ができ、生徒の評価がしやすいスタイルとなっている。 ・教科書には、内容項目ごとの題材が掲載され、ノートの中に道徳的価値についての説明があり分かりやすい内容となっている。そのため、考える・話し合う場面でノートを活用し、生徒が内容を深く考え、ねらいに迫ることができる。 ・教材の末尾には「考える・話し合う」として学習の手がかりとなる発問が示されている。「考えを広げる・深める」では教材に関連した体験的な活動を促す内容などが示されている。 ・「心のしおり」が「道徳ノート」の巻末にある。生徒が道徳の時間に学習したことの記録や振り返りを書き残せて、生徒の成長の記録となるほか、教師側の「評価」をする際の記録としても活用できる。
233 日 本 教 科 書	<ul style="list-style-type: none"> ・絵だけのページがあり話し合いを通して違いを認め合える。 ・先人の生き方から、生きる勇気や知恵などを感じられる教材を多く掲載している。 ・現在活躍の人物資料もあるが、昔から定評のある教材も多く取り入れられている。 ・生徒が自分自身の問題ととらえられるような資料が掲載されている。 ・補足の資料が13点添えられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教材ごとにコンパクトにまとめられており、言葉の説明や作者の説明が丁寧に示されている。 ・未習漢字にはふりがなが付けられており、必要な説明などは脚注にわかりやすく書かれている。 ・挿絵やイラストにはやわらかい色が使われている。 ・全体的にシンプルで、すっきりとした構成になっている。 ・資料にイラストや写真が多く添えられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・4つの視点ごとに、教材がまとまって順番に配列されていて、道徳性の育成に向かう「主体的・対話的で深い学び」の授業の実現を目指している。 ・資料には郷土の先人や同世代の中学生が主人公のものが選ばれている。 ・教材の冒頭に「主題」がなく生徒の実態に即して授業が展開できるようになっている、末尾には学習活動を活発にする活動の流れが示されていて、最後に自己を見つめ直す問がある。 ・難解な語句には、下段に説明があり、また余白を多めにとっている。 ・読みものの後に「もっと知りたい」「込められた想い」として、学習内容を深化させる工夫がある。 ・教材によって、直接記入することができ自分の言葉を記録することができ、1年間の振り返りと合わせて使用できる。 ・先人の生き方から自分自身を見つめ直す教材が取り入れられている。 ・B5版でコンパクトなつくりになっている。

国語 調査資料 作成の観点

項 目	観 点	
教育基本法、学校教育法の下の小 学校学習指導要 領の教科の目標 とのかかわり	<p>○国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるために、どのような工夫がなされているか。</p> <p>○国語に対する関心を深め国語を尊重する態度を育てるために、どのような工夫がなされているか。</p>	
特 色	内 容	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫></p> <p>○国語の基礎的・基本的な知識・技能を習得させるために、どのような工夫がなされているか。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○児童の言語活動を充実させ、思考力、判断力、表現力を育成するために、どのような工夫がなされているか。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○児童が主体的に学習に取り組むようにするために、どのような工夫がなされているか。</p> <p><さいたま市の目指す子ども像の具現化に向けた工夫></p> <p>○「知」「徳」「体」「コミュニケーション」をバランスよく身に付けさせるために、どのような工夫がなされているか。</p> <p>○自分の頭で考え、その考えを自分の言葉で適切に表現する力を育成するために、どのような工夫がなされているか。</p> <p>○言葉を大切にし、相手を大切にして自分の考えを伝え合う力を育成するためにどのような工夫がなされているか。</p> <p>○読書活動や調べる活動など、学校図書館を活用するためにどのような工夫がなされているか。</p>
	資 料	<p>○学習効果を高めるため、資料にどのような工夫がなされているか。</p> <p>○挿絵・写真・図表等、資料のレイアウトにどのような工夫がなされているか。</p>
	表記・表現	<p>○漢字・用語・記号などの使い方にどのような工夫がなされているか。</p> <p>○教材や内容の文章表現の難易度について、児童の言語能力の発達の段階からどのような工夫がなされているか。</p>
総 括	(全体的な特徴、その他)	

教科用図書調査専門員会報告書

(小学校 国語)

項目 発行者	教育基本法、学校教育法の下的小学校 学習指導要領の教科の目標とのかかわり	特 色 内 容
2 東 京 書 籍	<ul style="list-style-type: none"> ・「伝え合う力」の育成を図るために、どの領域においても気付きや考えの交流が図れるよう、認め合い高め合う具体的な姿が挿絵と吹き出しで随所に示されている。 ・「話すこと・聞くこと」2～5単元、「書くこと」5～9単元、「読むこと」10単元、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」7～10の小教材で構成されている。 ・「図書館へ行こう」では図書の活用方法が紹介され、「読むこと」の単元では、関連する図書が紹介されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「習得・活用」の観点では、単元冒頭にねらいが明示され、終わりに振り返りができるチェック項目が示されている。また、各単元末には「言葉の力」が明示され、学習内容の重点が分かるようになっている。各単元には、「つながる」で関連する既習事項が示され、「ひろがる」で他教科への活用を促す内容が明示されている。 ・各領域では、コミュニケーションにつなげることを意識した課題が設定され、相手意識をもちながら取り組めるよう配慮されている。 ・「読むこと」では、パンフレットや保健だより等を取り上げ、実生活に関連付けている。
11 学 校 図 書	<ul style="list-style-type: none"> ・「伝え合う力」の育成を図るために、学年のはじめには「学級作り」のページを設け、交流場面を位置付けている。どの領域においても、交流場面が随所に設定されており、交流をしながら学びを深める学習の流れになっている。 ・「話すこと・聞くこと」3～4単元1小教材、「書くこと」3単元4～5小教材、「読むこと」6単元3教材、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」8～10小教材で構成されている。 ・「本と友達」では、単元に関連する本が紹介されている等、読書単元が設置されており、掲載作品を活用した様々な活動が紹介されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「習得・活用」の観点では、単元のはじめに「単元の学習の流れ」を図式化して明示しており、児童が見通しをもって主体的に学べる工夫がある。「話すこと・聞くこと」「書くこと」の複合単元がいくつかあり、話したことを基に書くなど、習得と活用が一つの単元の中で円滑に行われるように工夫されている。 ・各領域で、ペア、グループなどの学習形態で交流する場面が設定されている等、コミュニケーションを扱った教材が年間1つ設定されている。 ・案内状、依頼状の書き方、引用の仕方、分かりやすい文章の書き方等、他教科に生かせる技能を扱う教材が多くある。
15 三 省 堂	<ul style="list-style-type: none"> ・「伝え合う力」の育成を図るために、「話すこと・聞くこと」では、「話合い」「説明・報告」の教材を中心に基本的な言語技能の定着の工夫がされているほか、「読むこと」では、対話や発表、話合いなどの活動が設定されている。 ・「話すこと・聞くこと」1単元4小教材、「書くこと」2単元4～5小教材、「読むこと」7～8単元、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」8～9小教材で構成されている。 ・「わたしの本だな」では、ほぼ全ての教材に対して関連する図書が紹介され、「あまさんのへや」では、夏休み前に読書への興味・関心を引き出す工夫がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「習得・活用」の観点では、目次に続いてその学年で学習することが領域別にまとめられており、またそれに対応するように「おぼえておきましょう」のまとめが巻末に掲載され、定着と活用が図られている。 ・「話すこと・聞くこと」では、ペアからグループなど学習形態を変化させることで交流の幅を広げる工夫がされている。その他の領域でも、友達とコミュニケーションを図りながら学習が深められるような工夫がされている。 ・「プラザ」では、学習内容を日常生活の中で生かす場面を設定して、習得したことを活用できるように配慮されている。

(小学校 国語)

項目 発行者	特 色		総 括
	資 料	表記・表現	
2 東 京 書 籍	<ul style="list-style-type: none"> ・<巻末>新出漢字、既習漢字が整理されている。各単元での漢字の練習問題の答え合わせが掲載されており、児童が自分で答え合わせができるようになっている。 ・「付録 言葉の世界」は、内容が充実しているので、学習を振り返る時、他教科で報告書を書く時などに使いやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・欄外には、4～7つの記号が使用されている。 ・各ページに行数を表すリーダーが付いており、○ページ○行目と伝える時に分かりやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・はじめに「1つかむ 2取り組む 3ふり返る 4広げる」という学習の進め方が示されている。 ・巻末の「ことばの力のまとめ」には、大切なことがすべてまとめてあり、資料として使いやすい。 ・「読むこと」の單元には、「てびき」で学習活動の例が示されており、言語活動を中心とした指導計画が立てやすい。
11 学 校 図 書	<ul style="list-style-type: none"> ・<巻末>既習漢字一覧、新出漢字には書き順、用例を示している。「授業で使う言葉」「国語のカギ」などで、重要語句と学習内容がまとめられている。 ・「保護者の方へ」では、保護者向けに各領域で目指すことが書かれている。 ・教材を補充する読み物が掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・欄外には、新しく出た漢字等、6つの記号が使用されている。また、本文にも6つの記号が使用されている。 ・新出漢字には本文中にルビが振ってあり、初見でも読めるようになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・入門期にページがすぐ開けるような工夫がされており、児童が興味をもって取り組めるように配慮されている。また、「話すこと・聞くこと」「書くこと」には、児童が興味・関心をもちやすい日常生活に根付いた題材を取り上げた教材が多い。 ・「読むこと」の学習の前に「読むレッスン」をおき、読み方を押さえることで、児童が主体的に読むことができるよう配慮されている。
15 三 省 堂	<ul style="list-style-type: none"> ・<巻末>「おぼえておきましょう」のまとめが掲載されており、今までの学習の振り返りができるようになっている。 ・資料集「学びを広げる」が別冊になっており、関連する読み物や古典的な文章、文章の書き方や話し方など技能的なこと、国語の学習で使用する用語集など、各学年に即した資料が豊富に掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・欄外には、使えるようにしたい言葉を示す記号が1つ、本文には、他教科や生活に役立つ学習内容を表す「おぼえておきましょう」の記号が1つ使用されている。 ・1年入門期には、文章中の文字の大きさを変えて強調する等の工夫がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2年以降は、学年1冊であり、1年間を見通したり、振り返ったりする学習ができるよう配慮されている。 ・教科書と資料集という2分冊構成になっている。資料集は、学年を追って、系統的な事項が分かりやすくまとめられている。 ・新出漢字は、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の単元で集中的に学習し、「読む」「書く」単元に生かす形になっている。

教科用図書調査専門員会報告書

(小学校 国語)

項目 発行者	教育基本法、学校教育法の下の小学校 学習指導要領の教科の目標とのかかわり	特 色 内 容
17 教 育 出 版	<ul style="list-style-type: none"> ・「伝え合う力」の育成を図るために、各領域において、互いの考えや意見を交流する「学び合い」を学習の様々な場面に位置付けている。 ・「話すこと・聞くこと」3単元1～2小教材、「書くこと」2～3単元3～5小教材、「読むこと」7～9単元2～4小教材、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」2～3単元2～3小教材で構成されている。 ・「読むこと」の単元には、関連する図書が紹介されている等、発展的な活動として読書交流で読みを深める機会が設定されている。また、図書館の活用についての読書単元（6年はなし）が年間に1つ設定され、折り込み付録ではジャンルごとに各学年で読みたい本が紹介されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「習得・活用」の観点では、単元の目標・めあて、学びのステップ「学習の進め方」を明示し、児童が学習のめあてやステップを理解しながら進めるよう配慮されている。また、「読む」単元で学習したことを、「書く」「話す・聞く」単元で生かすことができるよう、習得・活用を意識した単元構成が図られている。 ・各領域で、感想やアドバイスなど友達と交流する場が多く設定されており、また交流の場面絵が具体的で、児童が見通しをもちやすいように配慮されている。 ・「スーパーマーケット見学」「工場見学」など、社会、理科、総合的な学習の時間に関連する題材で学習が進められているため、他教科での活用がしやすい。
38 光 村 図 書 出 版	<ul style="list-style-type: none"> ・「伝え合う力」の育成を図るために、「話すこと・聞くこと」の領域以外でも、友達との対話などの場面が多く設けられている。 ・「話すこと・聞くこと」1～2単元2～4小教材、「書くこと」2～3単元3～4小教材、「読むこと」6～9単元2～3小教材、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」6～9小教材で構成されている。 ・「この本、読もう」では、「読むこと」「書くこと」の各単元に関連する図書が紹介されており、学習の発展と読書活動の充実を図る工夫がある。「本は友達」では、本の探し方、調べ方などを丁寧に扱っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「習得・活用」の観点では、全ての単元で身に付けたい力を単元名に明示するとともに、その単元の最後の「ふりかえろう」で評価の観点を明らかにしており、どんな力が身に付いたか確認できるようになっている。また、「読む」単元で学習したことを「書く」単元で生かすなど、習得・活用を意識した単元構成の工夫がみられる。 ・各領域において、交流・対話する場面が多く設定されており、交流の場面絵が具体的で、児童が活動の見通しをもちやすい。 ・単元の最後の「いかそう」では、社会科や理科、総合的な学習の時間での活用が明示されている。

(小学校 国語)

項目 発行者	特 色		総 括
	資 料	表記・表現	
17 教 育 出 版	<ul style="list-style-type: none"> ・<巻末>「この本で学ぶこと」(1年上なし)では、領域ごとに学習のめあてと活動の内容が示され、見通しをもって、学習を進めることができるようになっている。 ・付録には補充的・発展的学習のための教材が収録されている。また折込ページには、各学年で読みたい本が紹介されていて、読書への配慮がされている。 ・挿絵や写真が大きく、ワイドである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・欄外に漢字・用語を示す記号が3～4種類使用されている。本文には、「ここが大事」「ふり返り」等の囲みを使用されている。 ・着目させたい事柄について赤線を使い目立たせ、着目させたい部分がはっきり分かるような記述になっている。 ・1年入門期の物語で、文字の大きさを変え、会話文の読み方について支援している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習方法が「見える」、学習内容が「分かる」工夫がされ、「何を」「どのように」学ぶかが明確になっている。 ・「話すこと・聞くこと」「書くこと」の単元では、相手を意識した活動が主体的に行われるよう、学習の手順や流れが明示され、分かりやすい。 ・「読むこと」の単元では、読み進め方を詳しく示すとともに、書くことを中心にした言語活動が設定されており、指導計画が立てやすい。
38 光 村 図 書 出 版	<ul style="list-style-type: none"> ・<巻末>「学習を広げよう」で、「たいせつ」のまとめや本の紹介、「言葉の宝箱」による言葉の紹介等が示され、資料として活用できるよう用意されている。 ・「この本、読もう」(1年なし)では、学習した教材の関連図書が紹介されていて、読書を広げる配慮がされている。 ・写真・挿絵の種類、数が豊富である。絵のタッチもやわらかい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・欄外の漢字・用語を表す記号が3～4種、学習内容を表す記号が7種使用されている。 ・季節の言葉のページは文章と写真がバランスよく、美しい。 ・文章の下には脚注があり、自分で考えながら読を進めることができるようになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な教材を通して、幅広い分野に興味をもち、思考力・判断力の育成が図られるよう配慮されている。 ・「話すこと・聞くこと」「書くこと」の単元では、活動の流れを図で分かりやすく示し、見通しをもって活動に取り組めるように配慮されている。 ・「読むこと」(中・高学年)の学習では、説明文の単元で本教材の前に、簡単な文章構成の教材が設定され、児童が文章構成に親しみやすく配慮されている。

※三省堂については、平成26年度調査専門員会報告書から引用。

書写 調査資料 作成の観点

項 目	観 点	
教育基本法、学校教育法の下の小 学校学習指導要 領の教科の目標 とのかかわり	<p>○点画、文字の大きさや配列、書く速さなどに注意して書く能力を育成するために、どのような工夫がなされているか。</p> <p>○毛筆で、点画の書き方や筆圧に注意したり穂先の動きと点画のつながりを意識したりして書く能力を育成するために、どのような工夫がなされているか。</p> <p>○国語に対する関心を深め国語を尊重する態度を育てるために、どのような工夫がなされているか。</p>	
特 色	内 容	<p>＜基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫＞</p> <p>○書写の基礎的・基本的な知識・技能を習得させるために、どのような工夫がなされているか。</p> <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成する工夫＞</p> <p>○児童の生活や学習活動において、目的に応じて文字を書く学習について、どのような工夫がなされているか。</p> <p>＜主体的に学習に取り組む態度を養う工夫＞</p> <p>○児童が主体的に学習に取り組むようにするために、どのような工夫がなされているか。</p> <p>＜さいたま市の目指す子ども像の具現化に向けた工夫＞</p> <p>○文字による「コミュニケーション」を大切にする態度を育成するために、どのような工夫がなされているか。</p> <p>○伝統的な言語文化への関心を高めるようにするために、どのような工夫がなされているか。</p>
	資 料	<p>○学習効果を高めるため、資料にどのような工夫がなされているか。</p> <p>○挿絵・写真・図表等、資料の配置や手本との関連にはどのような工夫がなされているか。</p>
	表記・表現	<p>○用語・記号などの使い方にどのような工夫がなされているか。</p> <p>○教材の内容や解説・説明の仕方について、児童の言語能力の発達の段階に応じてどのような工夫がなされているか。</p>
総 括	(全体的な特徴、その他)	

(小学校 書写)

項目 発行者	教育基本法、学校教育法の下的小学校 学習指導要領の教科の目標とのかかわり	特 色	
		内 容	
2 東 京 書 籍	<ul style="list-style-type: none"> 毛筆教材の左端にインデックスを示すことで、学習事項を児童が自ら確認することができ、書写の基礎的・基本的な知識が身に付くような紙面構成になっている。 学習指導要領の各学年目標が明確に示され、3年以上は、インデックスに学習のポイントが明記されている。 童謡や古文・漢文等のなぞり書き教材が全学年にあり、伝統的な言語文化に触れられるような工夫がみられる。 義務教育段階を意識して、裏表紙に「保護者の皆様へ」として学習の意義を説明している一文がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 基本点画を全学年共通のマークで示し、毛筆練習では、点画のつながりを考えられるようにしている。 既習事項が確認しやすいように、紙面の左端にインデックスが示されている。 毛筆教材の学習の前後に関連する硬筆教材が設定され、実際に書き込んで練習できるようにしている。 書写で学習したことをどう生かすかを「生活を広げよう」「ノートに書こう」で明確にし、他教科等での活用を図るとともに、そのポイントを上部のインデックスに表記して、ポイントを明らかにしている。 	
11 学 校 図 書	<ul style="list-style-type: none"> 毛筆で学習したいことを実生活に生かせるよう、「硬筆に生かそう」というページが設けられている。 学習のめあてで、特に注意すべきところはカラーで表示されている。 「めあての確認」「ためし書き」「課題の確認」「練習」「まとめ書き」「振り返り」という学習の進め方が明記されている。 指導事項上の書写技能を、観察から試し書き、練習、まとめ書きと一連の流れの中で学習できるよう工夫している。 裏表紙に保護者向け部分があることは教育基本法を精神を意識していると同時に、教師が児童に学習のまとめとして意識させることも可能である。 	<ul style="list-style-type: none"> 毛筆書写の始まる3年には、「毛筆学習の進め方」の流れが分かるような工夫がある。 見開きページの右側に毛筆手本、左側に説明というレイアウトが基本であるが、2ページにわたる横版大型手本が多く掲載されている。 基本点画「右上はらい」を取り上げている。 1年で、数字の書き方にも触れ、探検バッグ（バインダー）を活用した際の書き方や、生活科カードの例が示されるなど、他教科の学習につなげることを意識している。 	

(小学校 書写)

項目 発行者	特 色		総 括
	資 料	表記・表現	
2 東 京 書 籍	<ul style="list-style-type: none"> 低学年は、シールで自己評価ができるようにしてある。 姿勢や用具の持ち方と扱い方が豊富な写真や挿絵、言葉で詳しく明示されている。 巻末に「ひらがな表(毛筆)」「カタカナ表、ローマ字表(硬筆)」「当該学年で習う漢字表(毛筆・硬筆)」等の掲載があり、大きな折込資料も含めて資料が豊富である。 	<ul style="list-style-type: none"> 運筆を擬音語で示し、筆圧の変化を分かりやすくしている。 朱墨の運筆が鮮明であり、指でなぞるようにしている。 始筆を「折り紙半分」として穂先の向きを分かりやすく示している。 統一されたキャラクターの活用、インデックスの活用が見やすくなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ワイドな紙面が特徴的であり、書写の基礎的・基本的な知識が身に付くような紙面構成になっている。 「調べよう」「確かめよう」「広げよう」の学習手引きを設け、主体的に学習に取り組めるようになっている。 図解、写真、硬筆文字、毛筆文字いずれも適切で見やすく、学習者の参考になる姿勢や、色々な筆記具等の資料が掲載されている。
11 学 校 図 書	<ul style="list-style-type: none"> 低学年は、シールで自己評価ができるようにしてある。 姿勢と筆記具の持ち方、筆圧についての資料が巻頭折り込みページにあり、常に確認できるようにしている。 巻末に「当該学年で習う漢字表」が硬筆・毛筆で掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 毛筆の始筆について「三角定規のななめの縦の向き」と表記している。 キャラクターを用いたり、吹き出しでポイントを示したりして、分かりやすくなっている。 使用インク、ユニバーサルデザインについて配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 見出し、めあてがシンプルに書かれており、押さえるべき学習内容の基礎・基本が分かりやすく示されている。 学習の進め方を、一つの文字を例として挙げ、分かりやすく説明している。 原寸大の手本があり、便利である。

(小学校 書写)

項目 発行者	教育基本法、学校教育法の下的小学校 学習指導要領の教科の目標とのかかわり	特 色	
		内 容	
15 三省堂	<ul style="list-style-type: none"> 「点画の書き方」の横画では「ほ先はいつも上のはし」のように、児童が意識すべきことがらを目標語として設定したり、大きなポイントでレイアウトしたりするなど、教師にとっての指導事項、児童にとっての学習目標に対する工夫がなされている。 毛筆で学習したことを実生活に生かせるよう、鉛筆で書くコーナーがある。 低学年では、点画や書き順、中学年では文字の組立て方や配列、高学年では、用紙全体との関係や書く速さという、学習指導要領に示された事項に重点を置いためあてが設定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 低・中学年では、点画や文字のポイントを「交わるときは中心で」等、短い言葉で設定し、学習内容の見出しとして分かりやすく示しており、文字学習のポイントとなる部分が明確になっている。 「ひろげよう」のコーナーで、既習事項を生かし、様々な様式で書く活動が取り入れられている。 「たしかめよう」や「確かめ合おう」では、学習を振り返り、自己評価ができるようになっている。 	
17 教育出版	<ul style="list-style-type: none"> 「めあて」「ためし書き」「考えよう」「ここが大切」「まとめ書き」「ふり返ろう」として学習の進め方が、マークと共に明確に示されている。 書写への関心が高められるように、「知りたい文字の世界」コーナーで、文字に関する様々な資料が掲載されている。 「トライあんどチャレンジ」として発展学習への配慮がされている。 全学年で「横書きの書き方」を扱い、「生活で生かす」「算数で生かす」などの項目を示し、目的に応じた書き方を学べるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習の初めと終わりにためし書きとまとめ書きがあり、効果的に学習が進められるようになっている。 「考えよう」では、学習のポイントを自分で考え、「ここが大切」では学習のポイントを詳しく解説するなど、主体的な学習ができるようにしている。 「ふり返ろう」では、自己評価ができるようになっている。 「トライあんどチャレンジ」「はってん」コーナーで、既習事項を生かし、他教科や次の学習内容と関連付けた取組が示されている。 	

(小学校 書写)

項目 発行者	特 色		総 括
	資 料	表記・表現	
15 三省堂	<ul style="list-style-type: none"> 毛筆の用具の置き方、筆の持ち方、姿勢がイラストで示されている。 文字の作品や、身の回りにある文字などが、イラストや写真で簡潔に紹介されている。 巻末に「当該学年で習う漢字」「前学年で習った漢字表」が硬筆で掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 毛筆の始筆を、時計の針の10時半と示している。 毛筆の筆使いを示す資料では、穂先を朱色で示し、穂先の動きを明確にしている。 運筆の腕の動きがイラストで示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「たしかめよう」「確かめ合おう」で自己評価ができるようになっている。 学習を生かせるよう、鉛筆で書き込むスペースが多く設けられている。 手紙やはがきの書き方を扱い、日常生活につなげるようにしている。
17 教育出版	<ul style="list-style-type: none"> 巻末に「ひらがな表」「当該学年で習う漢字」「前学年で習った漢字」が硬筆で掲載されているほか、原稿用紙や手紙の書き方など豊富な資料が掲載されている。 身の回りにある様々な字体が、写真で分かりやすく紹介されている。 文字の歴史の資料の中に、埼玉県稲荷山古墳の鉄剣が掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 見開きページの、右側に毛筆手本、左側に説明が基本になっており、児童が手本として活用することへ配慮されている。 「めあて」と「ふり返り」が同じ色で表記されており、対応させて自己評価ができるようになっている。 文字の組立て方を色分けして分かりやすく示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習の進め方が明確に示されている。また、解説も詳しいので、児童が主体的に学習を進める手助けになる。 めあてに対し、自己評価できる振り返りが明示されている。また、前学年のまとめが示されており、既習事項を振り返りながら学習できる。 毛筆使用教材が基本的に右ページに示されているので、机の上で使用する際の扱いやすさ、学びやすさを考慮している。

(小学校 書写)

項目 発行者	教育基本法、学校教育法の下的小学校 学習指導要領の教科の目標とのかかわり	特 色	
		内 容	
38 光 村 図 書 出 版	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項を単元名とし、何を学ぶのかを明確にするとともに、表記上も大きく目立つようにしている。 ・基礎的・基本的事項の習得、児童自身の主体的な学習を促すように、簡潔なレイアウト、分かりやすい説明・指示が統一されている。 ・「書き方を考える」「書き方を知る」「書き方を確かめる」「毛筆で書く」「硬筆で書く」「ふり返る」「生活に生かす」という学習の進め方が明記されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・点画の種類を書き込むページがあったり、字形の違いを明確にしながら文字の組立て方が示されていたりするなど、指導事項を精選し、分かりやすくまとめている。 ・低学年では、姿勢の合言葉や鉛筆の持ち方が丁寧に分かりやすく示されている。 ・双葉マークの「たいせつ」で、学習のポイントがまとめられている。1年で数字の書き方、生活科カードの書き方など他教科等と関連する内容も取り上げている。 ・6年では行書が示されるなど、中学校との接続を意識した資料が掲載されている。 	
116 日 本 文 教 出 版	<ul style="list-style-type: none"> ・文字の成り立ちや古典文学、行書を取り扱い、伝統的な言語文化に触れられるような工夫がみられる。 ・学習指導要領の指導事項が単元名になっており、書写の基礎的・基本的な知識が段階的に身に付くような紙面構成になっている。 ・「考える」という項目から始まり、課題意識をもたせる導入から、「確かめる」「生かす」「ふりかえる」という学習の進め方になっている。 ・毛筆で学習したことを硬筆に生かせるように、各教材で、見通しをもって学習に取り組めるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が書く際のポイントが丁寧に書かれており、それを意識して学習できるようになっている。 ・3年以上の毛筆書写は、ポイントとなる筆使いが淡墨図で示されており、分かりやすい。 ・「広がる学び」では、日記や手紙など、日常生活につながる具体例を示している。 ・文字の歴史や文学史上の作家の文字を扱うなど、伝統文化や中学校への接続、文字学習のまとめが意識されている。 	

(小学校 書写)

項目 発行者	特 色		総 括
	資 料	表記・表現	
38 光 村 図 書 出 版	<ul style="list-style-type: none"> ・巻末に「当該学年で習う漢字表（硬筆・毛筆）」「前学年で習った漢字表（硬筆）」「ひらがな表、カタカナ表、ローマ字表（硬筆）」が掲載されている。 ・文字の歴史の資料として、甲骨文や金印等の写真資料が掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運筆を擬音語で示したり、始筆を「ななめほさきちゃん」と表現したりするなど、児童が学習に親しめるようにしている。 ・学年ごとに違うキャラクターを活用し、めあてやポイントを分かりやすく大きく示している。 ・鉛筆の持ち方が写真で示されており、分かりやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の進め方が丁寧に示され、振り返りも詳しいことで、児童の主体的な学習につながるようにしている。 ・前時までに学習したことを生かし、振り返ることができるように、ページを示してある。また、紙面構成もめあて、タイトル、詳しい目標が明記されており、それを意識して書けるようにしている。 ・手紙やノート（縦書き、横書き）、メモ等の日常生活につながる資料を巻末にまとめて掲載し、使えるようにしている。
116 日 本 文 教 出 版	<ul style="list-style-type: none"> ・巻末に「当該学年で習う漢字表（硬筆で筆順）」「ひらがな表、カタカナ表（硬筆）」が掲載されている。 ・目的に合った筆記具で書けるよう、色々な筆記具が写真付きで分かりやすく紹介されている。 ・姿勢や用具の持ち方と扱い方が写真と言葉で分かりやすく示されており、左手で筆をもつ場合の用具の置き方についても記載がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・統一されたキャラクターを用いてポイントを吹き出しで示すことで、児童の理解を助けている。 ・始筆を「折り紙半分」と表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全学年「考える」「確かめる」「生かす」の学習の進め方になっており、主体的・段階的に学習に取り組めるようになっている。 ・写真・図、説明、用例等、児童が学びやすく、扱いやすい大きさ、レイアウトの工夫があり、基礎的・基本的事項を身に付けやすいよう配慮されている。

※三省堂については、平成26年度調査専門員会報告書から引用。

社会 調査資料 作成の観点

項 目	観 点	
教育基本法、学校教育法の下 の小学校学習指導要領の教科の目 標とのかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ○児童一人ひとりに公民的資質の基礎を養うために、次の2点にどのような配慮がなされているか。 ・地域社会や我が国の国土、産業、歴史などに対する理解と愛情を育て、社会的な見方や考え方を養うこと ・問題解決的な学習を一層充実させ、よりよい社会の形成に参画する資質や能力の基礎を培うことを一層重視すること 	
特 色	内 容	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域社会や我が国の国土、産業、歴史や政治の働き、国際社会における我が国の役割などについて理解させ、確実な定着を図るために、どのような工夫がなされているか。 ○資料活用の技能の確実な定着を図るため、社会的事象の具体的な調査、地図や各種の資料の効果的な活用には、どのような工夫がなされているか。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○社会的事象の特色や相互の関連、意味などについて考える力を育てるため、どのような工夫がなされているか。 ○調べたことや考えたことを言語などで適切に表現する力を育てるため、どのような言語活動の充実を図っているか。 <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○社会的事象に対する関心を高め、意欲的な学習を促すため、どのような工夫がなされているか。 ○作業的・体験的な学習を促し、充実させるため、どのような工夫がなされているか。 <p><さいたま市の目指す子ども像の具現化に向けた工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「知」「徳」「体」「コミュニケーション」をバランスよく身に付けさせるために、どのような工夫がなされているか。
	資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○児童の興味・関心、学校や地域の実態等に対応するため、事例の選択、資料の取り上げ方や配列には、どのような工夫がなされているか。 ○学び方や調べ方を身に付けさせるため、どのような工夫がなされているか。
	表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○児童が親しみ進んで利用できるようにするために、表記・表現にどのような工夫がなされているか。 ○児童の問題意識を高めるために、表記・表現にどのような工夫がなされているか。 ○児童の理解を助けるために、本文の記載等にはどのような工夫がなされているか。 ○児童が意欲的に学習を進められるようにするために、凡例等にはどのような工夫がなされているか。
総 括	(全体的な特徴、その他)	

教科用図書調査専門員会報告書

(小学校 社会)

項目 発行者	教育基本法、学校教育法の下の小学校 学習指導要領の教科の目標とのかかわり	特 色 内 容
2 東 京 書 籍	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3・4年では、地域への誇りや愛着をもてるように、郷土の発展に尽くした人々の働きやその思いを具体的に取り上げ、国家・社会の一員として、伝統と文化を尊重し受け継ぐ大切さを自覚できる教材や学習場面が設定されている。 ・ 5年では、自然条件から見て特色ある地域の学習で、地形条件は海津市か長野県川上村・南牧村、気候条件は沖縄島か北海道十勝地方を選択して事例学習を行えるようにし、学習指導要領の理解目標に配慮がなされている。 ・ 6年は、人物の業績や文化遺産に視点を当てた学習問題になっていて、学習指導要領の趣旨に基づいた歴史学習が行えるように配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各学年とも見開きで「学習の進め方」を設け、「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」の段階で、問題解決の流れが分かりやすく示されている。 ・ 様々な職業に携わる人々の話を多く取り上げ、職業に対する共感的な理解を促せるようになっている。 ・ 防災教育では、学習したことを基に自分たちにできることを話し合う構成になっている。 ・ 電気の単元において、さいたま新都心の効率的なエネルギー利用の取組が取り上げられている。 ・ 巻末に「中学校に向けて」のページがあり、今までの学習と中学校での学習の関連性が分かりやすく示され、小・中連携に配慮がされている。
17 教 育 出 版	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3・4年では、店の販売について、販売者の側の工夫と消費者側の願いとの関連付けを重視し、学習指導要領の内容の取り扱いを十分に反映させている。 ・ 5年は、自然条件から見て特色ある地域の学習で、主として沖縄と長野県野辺山原を位置付け、選択として北海道か新潟県白根郷を取り上げ、同じ視点で事例地を比べられる構成になっており、学習指導要領の理解目標に配慮がされている。 ・ 6年は、歴史の学習の導入において、身近な史跡や遺跡などに目を向ける活動を位置付け、学習指導要領の態度目標に配慮がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「つかむ」「調べる」「まとめる」「深める」で構成され、問題解決的な学習を進められるよう説明されている。特に、「深める」の学習活動において、自分と社会を関わらせて考える力が育てられるように配慮がされている。 ・ 「学びのてびき」は、学び方を具体的に示し、児童が主体的に取り組めるよう工夫されている。 ・ 関係者の話を多く取り入れ、児童が関心をもちやすい構成になっている。 ・ 防災教育では、東日本大震災の教訓を基に、「自助、共助、公助」などのキーワードを活用して学習のまとめができる内容構成になっている。

(小学校 社会)

項目 発行者	特 色		総 括
	資 料	表記・表現	
2 東 京 書 籍	<ul style="list-style-type: none"> 写真や図が大きく、効果的に構成されている。 事例地には、日本全図や拡大図で、位置が表示されている。 資料に番号が振られ、活用しやすい。 政府見解に基づいた領土の記述がされている。 食料生産の学習において、さいたま市の田植えの様子が取り上げられている。 	<ul style="list-style-type: none"> 見開きページで構成されていて、左ページが本時の学習問題、右ページがまとめとなっていて児童の思考の流れに沿ってまとめられている。 「調べる」の最後に、次への疑問が書かれていて、児童の思考が次へつながるように配慮されている。 ユニバーサルデザインの配色、デザイン、書体になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 資料の数が豊富で、基礎的・基本的な知識・技能はもちろん、発展的な学習にも十分対応できる内容となっている。 問題解決的な学習を主体的に進められるような内容構成になっている。 取り上げられた事例も豊富で、いくつかの事例の中から選択して学習する単元においても充実した内容になっている。
17 教 育 出 版	<ul style="list-style-type: none"> 写真資料が多く、中でも中心資料は大きく、補助資料は小さく配置されている。 学び方の説明や資料の種類により折り込みページが設けられている。 政府見解に基づいた領土の記述がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各時間の活動が単元ごとに色分けされ、常に同じ位置に示されているので、その時間の学習問題をとらえられるようになっている。 キーワードは巻末に索引があり、3・4年では「たしかめたキーワードに☑をいれよう」の活動が示されている。 単元の始めに、世紀と時代が付いていて、学習している時代がとらえられる。 	<ul style="list-style-type: none"> キーワードでまとめを行うなど、児童が問題解決的な学習を主体的に進められるような内容構成になっている。 児童が学ぶことについて、クエスチョンマークを付けるなど工夫している。

教科用図書調査専門員会報告書

(小学校 社会)

項目 発行者	教育基本法、学校教育法の下の小学校教育指導要領の教科の目標とのかかわり	特 色	
		内 容	
38 光 村 図 書 出 版	<ul style="list-style-type: none"> ・3・4年では、身近な地域から市の様子に学習を広げていく過程において、児童の活動している様子の写真を多く活用することにより、無理なく地域学習が始められるよう工夫されている。 ・5年では、国土の地形や概要を、自然条件と人々のくらしの前に位置付け、学習指導要領の理解目標に配慮がされている。 ・6年の歴史学習は、単元全体を古代、中・近世、近代、現代の4区分とし、学習意欲や時代のとらえやすさに配慮がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の進め方が、「ホップ 見つける」「ステップ 調べる・話し合う」「ジャンプ まとめる・広げる」と明確に設定されていて、問題解決的な学習が進めやすくなっている。 ・「日本の国土」のまとめに「日本の国土クイズ」を行ったり、「自動車工業」のまとめに「10年後の自動車の企画書」を考えたりと様々な形式でまとめを行うようになっている。 ・防災では、東日本大震災を例に、自分たちに何ができるかを考えていく内容構成になっている。 ・地域の発展に尽くした単元において、岩槻区の遷喬館や人形のまち岩槻が取り上げられている。 	
116 日 本 文 教 出 版	<ul style="list-style-type: none"> ・3・4年では、「安全な生活」において、安全なくらしを守るための仕組みや協力することの大切さを学習することにより、主体的に社会の形成に参画しようとする態度を養えるようにしている。 ・5年では、国土の地形や気候の特色を概観し、自然条件からみて特色ある地域の人々の生活を調べるとともに、その後の産業学習の基礎となる知識を先に学習するように配慮して構成されている。 ・6年では、人物の業績や文化遺産に視点を当てた学習問題を設定し、児童が主体的に歴史的事象を追究できる歴史学習になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「問いの旅」として、「出会う」「ぎもんをもつ」「問題をつかむ」「予想を立てる」「調べる」「わかる」「ふりかえり、表現する」で問題解決的な学習を進められるように説明されている。 ・「学び方、調べ方コーナー」が随所に見られ、児童が主体的に学習できるよう工夫されている。 ・まとめの「ふりかえってみよう」では、単元の内容に応じて、様々な表現方法が例示されている。 ・防災教育では、「産業への影響」という視点から考えさせる内容も取り上げるとともに、「自助」「共助」「公助」などの観点で説明が加えられている。 	

(小学校 社会)

項目 発行者	特 色		総 括
	資 料	表記・表現	
38 光 村 図 書 出 版	<ul style="list-style-type: none"> ・地域学習は、探検での活動の様子や児童が見つけたものをその目線で写した写真を活用している。 ・写真資料や統計資料が少なくシンプルな構成になっている。 ・政府見解に基づいた領土の記述がされている。 ・巻末に「学習に役立てよう」があり、歴史の中の自然災害・国民の祝日、日本国憲法前文などが入っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に説明は丁寧で、文字情報が豊富にある。 ・「調べる」の最後に、疑問が書かれていて、児童の思考が次の時間につながるよう配慮されている。 ・5・6年は、学習内容を比較、関連付けができるように1冊にまとめられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習過程が、ホップ・ステップ・ジャンプの形で進められ、問題解決的な学習が主体的に進められるような構成になっている。 ・単元の導入部分で学習問題が示されるなど工夫されている。
116 日 本 文 教 出 版	<ul style="list-style-type: none"> ・県の様子は巻末にトレーシングペーパーが付いていて、白地図を写し様々な活動に使える工夫がある。 ・5年の国土の学習において、大阪市と他の事例地の気温を比較できるようになっている。 ・政府見解に基づいた領土の記述がされている。 ・歴史学習における想像図の見方が詳しく書かれている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・キーワードは巻末に索引が掲載されている。また本文中では、目立つようにゴシックになっている。 ・学習問題、学習課題、語句解説、学び方、まとめ方が色や枠で区分されており、分かりやすい配慮がされている。 ・グラフ・地図は、色調や色の組み合わせ、斜線、ドットを使用し、ユニバーサルデザインに配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決的な学習が進められるとともに、児童が効果的、効率的に基礎・基本を身に付けられるような構成になっている。 ・各単元の終末に、資料活用や学習活動を充実させるための手立てが工夫されている。

地図 調査資料 作成の観点

項 目	観 点
教育基本法、学校教育法の下 の小学校学習指導要領の教科の目 標とのかかわり	<p>○社会生活についての理解を図り、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育て、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養うために、どのような配慮がなされているか。</p> <p>○地図帳に親しみをもたせ、日常的な活用を促すとともに、学習問題の解決に向けた情報の収集、活用、整理等、効果的に活用していく力を育てるために、どのような配慮がなされているか。</p>
特 色	<p style="text-align: center;">＜基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫＞</p> <p>○地図の見方や地図帳の索引の引き方、統計資料の活用の仕方など、地図帳を活用する知識・技能を身に付けさせるために、どのような工夫がなされているか。</p> <p style="text-align: center;">＜思考力、判断力、表現力等を育成する工夫＞</p> <p>○効果的な地図の活用として、社会的事象を適切に見たり、それを基に考えたりする能力を育てるため、どのような工夫がなされているか。</p> <p style="text-align: center;">＜主体的に学習に取り組む態度を養う工夫＞</p> <p>○児童が興味・関心や問題意識を高め、意欲的に社会的事象を追究できるようにするため、どのような工夫がなされているか。</p> <p style="text-align: center;">＜さいたま市の目指す子ども像の具現化に向けた工夫＞</p> <p>○「知」「徳」「体」「コミュニケーション」をバランスよく身に付けさせるために、どのような工夫がなされているか。</p>
色	<p>○学び方や調べ方を身に付ける学習や作業的・体験的な学習を促すために、資料がどのように提示されているか。</p> <p>○資料の取り上げ方は、児童の発達の段階を踏まえ、どのような配慮がなされているか。</p> <p>○索引などの活用を図るために、どのような配慮がなされているか。</p>
表記・表現	<p>○児童の課題意識を高めるために、表記・表現はどのようになっているか。</p> <p>○児童が地図に親しみ意欲的に活用するために、表記・表現はどのようになっているか。</p> <p>○色彩・配色を含め、土地利用の様子や等高線（高さ）などはどのように表現されているか。</p> <p>○割り付けにはどのような配慮がなされているか。</p>
総 括	(全体的な特徴、その他)

教科用図書調査専門員会報告書

(小学校 地図)

項目 発行者	教育基本法、学校教育法の下の小学校教育指導要領の教科の目標とのかかわり	特 色
		内 容
2 東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然災害に関する見開きページにおいて、災害に備える国や地域の取組を紹介するとともに、吹き出しを活用し、災害に備えるように促している。 ・ 海に囲まれ、多様性に富んだ日本列島の姿を一望できるように示すとともに、日本の世界自然遺産について写真で紹介している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ キャラクターの吹き出しを活用し、地図の読み取りのポイントや疑問などを示すことにより、楽しみながら学習できる。 ・ 「地図帳の使い方」のページは、具体的な事例を基に、記号や色、索引など、資料活用能力が養えるように配慮されている。 ・ 児童が実際に地球儀を活用している様子の写真を使いながら、地球儀の活用について説明されている。
46 帝国書院	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国土の様々な様子が上空写真で示されており、地域社会や我が国の国土などに対する理解と愛情を深められる。 ・ 日本の都道府県のページにおいて、それぞれの都道府県の「有名なもの」と関連付ける作業的な学習を通して、児童が無理なく 47 都道府県を身に付けられる工夫がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 若田光一さんのメッセージを身近に感じることができ、将来への希望や地図学習の楽しさにつながる工夫がある。 ・ 「地図のなりたちとやくそくごと」のページは、写真→絵地図→地図記号の順に描かれていて、導入として地図に親しみやすい工夫がなされている。 ・ 自然災害の内容を見開き2ページとって、地図帳を参考に防災マップづくりができる構成になっている。 ・ 日本の歴史のページは、年表と「歴史の舞台になった場所」の表示に関連性をもたせており、年表の中に起きた場所があるので、歴史学習においても活用しやすいように工夫されている。

(小学校 地図)

項目 発行者	特 色		総 括
	資 料	表記・表現	
2 東 京 書 籍	<ul style="list-style-type: none"> 都道府県や主な国の統計資料は、地域ごとに色分けされている。 世界の地図も地勢図で表されており、土地の様子が理解できる。 食料生産のページは、土地の利用の分布に加えて、日本の食糧自給率の変化や食生活の変化のグラフも掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> 都道府県の統計は、1行おきに色が付いている。 全ての地図にもものさしの図が入った縮尺を表記し、視覚的にとらえられる。 全体的に色が濃く、鮮明な印象である。 イラストによって、特産物が分かるようになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> A4判であることを生かし、地図の周囲にあるイラストや主題図を厳選し、表示している。 都道府県の区分や地図帳の使い方が巻頭にあり、発達の段階に応じた調べ方の指導ができるようになっている。
46 帝 国 書 院	<ul style="list-style-type: none"> 「日本とそのまわり」でアジアを大きく示していて（国旗とともに）近隣諸外国との位置関係をとらえやすい。 外国の地域とその国々の国旗が同じページに示されている。 世界地図には、主な国の食事風景や生活の様子の写真が掲載され、外国の様子を理解する手助けになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 地図の高低を表す色使いがはっきりしている。 「館岩」や「木賊（とくさ）温泉」など、さいたま市の児童にとって身近な地名が掲載されている。 全体的に文字が濃すぎず、鮮やかな印象である。 色使いの工夫によって、国の範囲が理解しやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> AB判の特長を生かし、折込みページを活用しながら、地図を効果的に示している。 各ページにインデックスが付けられており、目的の地図を効率的に見付けられるように工夫されている。

算数 調査資料 作成の観点

項 目	観 点
教育基本法、学校教育法の下の小 学校学習指導要 領の教科の目標 とのかかわり	<p>○基礎的・基本的な知識・技能を身に付けるために、どのような配慮がなされているか。</p> <p>○日常の事象について見通しをもち筋道を立てて考え、表現する能力を育てるために、どのような配慮がなされているか。</p> <p>○算数的活動の楽しさや数理的な処理のよさに気付き、進んで生活や学習に活用しようとする態度を育てるために、どのような配慮がなされているか。</p>
特 色	<p>内容</p> <p><基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫></p> <p>○数量や図形についての基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図る上で、どのような工夫がなされているか。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○問題を解決したり、判断したり、推論したりする過程において、見通しをもち筋道を立てて考えたり表現したりする力を育成するために課題や教材にどのような特色がみられるか。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○児童が目的意識をもって主体的に学習に取り組むために、どのような工夫がなされているか。</p> <p>○学ぶことの楽しさや意義を実感できるようにするために、どのような配慮がなされているか。</p> <p><さいたま市の目指す子ども像の具現化に向けた工夫></p> <p>○他者とかかわりながら活動するために、どのような工夫がなされているか。</p> <p>○系統的に学習に取り組むために、どのような工夫がなされているか。</p>
	<p>資料</p> <p>○挿絵・写真・図表などの扱いに、どのような特色がみられるか。</p> <p>○統計資料など学習効果を高めるために、どのような特色がみられるか。</p>
	<p>表記・表現</p> <p>○見やすいレイアウトや読みやすい表現にするために、どのような工夫がなされているか。</p> <p>○記号・用語・単位などの表現には、どのような特色がみられるか。</p>
総 括	(全体的な特徴、その他)

項目 著者	教育基本法、学校教育法の下的小学校 学習指導要領の教科の目標とのかか わり	特 色	
		内 容	
2 東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> 身近な場面から問題を示し、考えたり話し合ったりする問題解決型の学習を中心に構成されている。また、練習問題や補充問題も数多く充実しており、基礎的・基本的な知識と技能を確実に習得するように配慮されている。 数学的な考え方や表現力の育成のために、図・式・言葉の関連付けを丁寧に行ったり、図や言葉や式を用いて問題解決ができるように児童が考えを表現する場面を適切に設けて例示したりするなど、考慮されている。また、考え方を説明したり読み取ったりする活動を取り入れるなど、思考力・表現力の育成を重視している。 身近な題材を用いたり、体験的な活動を取り入れたったりして、算数と生活の関連を実感し、算数のよさが味わえるよう工夫されている。また、ゲームを取り入れ、興味・関心を高めるなど、算数的活動を通して数理的な処理のよさを実感できるような学習展開がなされている。 	<ul style="list-style-type: none"> 要所に「考えよう 伝えよう」のページがあり、他者との比較や伝え合いの場面が示されている。学び方の定着や友達とのかかわりを大切にするとともに、思考力表現力の育成を重視している。 児童のつまずきやすい内容について、写真を用いて作図方法や測定方法の詳細な説明をしている。また、誤答を指摘させる活動など、随所に確実な理解、技能の習得ができるような工夫がなされている。 筆算の学習の際、筆算の手順を示すだけでなく、実際の操作活動と照らし合わせて計算の意味が分かるように構成されており、図と計算を関連付けながら筆算形式が定着できるよう工夫されている。 下学年から系統的にノート指導のページが設定され、表現力の育成に重点を置くとともに、ノートを活用し主体的に課題に取り組み、よりよい解決方法にまとめられるよう工夫されている。 説明や話し合いなどの指示文が設けられ、言語活動が意図的・計画的に取り入れられている。 数直線などの演算決定の根拠になる図の指導を1年生から段階的に取り上げるなど、図表示について細かく系統的な学習展開がなされている。 練習問題に難易度の差を設け、自分の理解状況に応じて学び直しや活用ができるように工夫されている。 	
4 大日本図書	<ul style="list-style-type: none"> 基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得ができるように、いくつかの考え方で解決を図り、適用・練習・補充問題で定着するよう配慮されている。 問題解決型の学習を意図した展開で、自力解決や比較検討を充実させた構成となっている。思考力・表現力を育成するために、問題の解決方法の根拠を自分の言葉で書いたり説明したりするように工夫されている。 算数的活動を充実させ、興味関心を高めながら学習できるよう配慮されている。また、他教科や社会生活などに関連した教材を取り上げるなど、算数で学習したことと実生活における事象が関連付けられるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ブロック図、金貨図、テープ図、線分図、数直線図など、下学年から図を使って問題解決し考えを説明できるように、図表示に特化した単元を設けるなど、図を系統だてて用いるような学習展開がなされている。 「数直線図のかき方」(4年)が特設され、数直線図の表し方が身に付くよう工夫されている。 単元末に、学習内容を活用した活動の場面を設け、学習内容の定着を図っている。 作図場面で作図方法を写真等で細かく示し、技能の習得ができるよう配慮されている。 補充問題では問題のレベルの差が明示され、個に応じられるようにしている。 考え方の違いを説明する活動や「にているところ」「いつでも使える考え方」を観点に比較する活動を行なうなど、思考力が身に付くよう工夫されている。 巻頭に、学習の流れに沿ったノートの書き方が例示され、表現力育成に配慮している。 体験活動や学習に関連するゲームを取り入れるなど、算数的活動を多く取り入れている。 計算の仕方や式の説明について、図や言葉を用いて記述する欄が設けられており、思考力や表現力を育てる工夫がされている。 	

項目 著者	特 色		総 括
	資 料	表記・表現	
2 東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> 題材に自然や環境に関わる内容を数多く取り入れている。 巻末に算数的活動や資料のための折り込みのページが用意されている。紙質を変えるなど、操作しやすい工夫がなされている。 問題把握や実生活での算数的事象の場面で、写真やイラストをふんだんに用い、見通しや意欲がもちやすくなるような工夫がなされている。 巻末に、海外の数学者の考え方や日本の和算等にふれ、興味・関心がもてるよう工夫されている。 巻末に、学習内容をまとめた「ふりかえりコーナー」がある。索引も用意され、既習の振り返りに役立つ。 	<ul style="list-style-type: none"> 巻頭(目次)に、前学年、後学年とのつながりのある単元を明記し、学習の系統を重視している。 学習課題が明確になるように、絵や図を見やすく配置するとともに、(半)具体物と数が結びつけやすいように工夫している。 算数用語はゴシック体、計算の仕方は影付き枠取りにしている。教えるべき内容は緑、考えさせる内容を赤で表記している。 単元に関係する場面へリンクできるように、要所に矢印表示が工夫配置されている。 問題は番号つきの色囲い、単元のめあては旗印の色つき文字になっており、学習の流れを把握しやすくなっている。 重要なポイントを色つきの吹き出し形式で示し、解決に役立つように工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 1年が上下巻別冊で、重さを配慮している。また、6年のみ上下巻が合本で、中学校とのつながりを意識している。 単元の初めに既習を想起させるページを入れ、学習の関連や系統性を意識した構成になっている。 既習との違いを意識させた後、課題を明確にし、自力解決、比較検討、適用発展と進む学習展開になっており、問題解決型学習を基盤とした構成になっている。 習熟の差により練習問題数を調整したり発展的な内容を設けたりし、個に応じた学習を工夫している。 巻末に「算数自習コーナー」を設定し、補充問題、発展問題など学力の定着に力を入れている。
4 大日本図書	<ul style="list-style-type: none"> 気温の変化やごみの量など、社会や自然現象を絵や写真で取り扱っている。 全巻末に算数的活動や資料のための折り込みのページが用意されており、切り離して使うことができるようになっている。 生活の中の算数や、外国の算数についての話題を取り上げ、思考力・表現力を養うトピック教材を設けたり、興味・関心・意欲を高めたりする工夫をしている。 口絵には学習内容と関連する拡大写真がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 新しい用語や記号、単位は太文字で書かれ、読み方や書き順が書かれている。 定義、公式、重要事項、計算の基本形は囲みや色付けで強調されている。 単元全体の課題が示され、各時間の課題は番号が付けられ、囲みで強調されている。 数学的な考え方やヒントは吹き出しで表示されている。 「まとめの練習」に、関連するページや補充発展するページを矢印表記している。 	<ul style="list-style-type: none"> 全学年とも上下巻が合本になっており、学年内で振り返りやすいようになっている。 目次に各単元に関連する既習事項や巻末に学習ごとに復習・発展問題を設けるなど、学びのつながりを大切にしている。 単元と単元の間にはコラムのページが置かれ、児童の興味関心を高めたり深化充実したりできるように配慮している。 随所に書き込みスペースが確保され、細かく確かめながら学習を進められるように工夫している。 指導時数が少なめに設定されており、練習・補充問題などを多くとり、習熟に時間がかげられる。

(小学校 算数)

(小学校 算数)

項目 発者	教育基本法、学校教育法の下の小学校 学習指導要領の教科の目標とのかか わり	特 色	
		内 容	
11 学校 図書	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・基本的な知識と技能を身に付けるために、作図やグラフ作成など作業ページを多く取り入れている。また、繰り返し学習ができるように補充問題が十分に用意され、学習の定着や発展を図るための配慮がされている。 ・児童の反応を具体的に例示し、比較しながら考えたり話し合ったりできるように配慮されている。また、重要な図や用語などが、大きく見やすく書かれ、思考力、表現力を育てる工夫がされている。 ・日常生活場面や算数的活動を取り上げて学習への興味・関心をもたせ、意欲的に学習に取り組む工夫がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題に対する考え方が半具体物や図などといっしょに取り上げられ、式や計算の意味を理解しやすいように工夫されている。 ・除法の筆算などつまづきやすい内容についてスモールステップで理解を図る工夫がされている。 ・補充問題や発展問題が巻末に用意され、習熟の程度に応じ、理解深化・定着ができるよう工夫されている。 ・作図場面では作図の方法を写真等で細かく示し、技能の習得ができるよう配慮されている。 ・各単元末の評価問題に、振り返って学習を確認できるようなポイントが矢印で明記されている。 ・乗法除法の学習の後に、数量関係を表す数直線図から立式させるページを設けている。 ・巻頭に「算数でよく使う考え方」を紹介し、思考力の育成を図っている。 ・テープ図と数直線、4マス関係図を明示するなど、系統的な図の指導を大切に、問題解決や説明に活用できるようにしている。 ・中学年までブロックを用いて場面把握や演算決定の根拠としている。 	
17 教育 出版	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年、各領域の内容は系統的・発展的に構成され、基礎的・基本的な内容に重点を置き、適用問題・練習問題を充実させ学習内容が定着できるよう構成されている。 ・身近な日常場面を素材とし、学び方を示し、既習の学習内容をもとに算数的活動を行うなど、見通しをもち筋道を立てて考えたり、表現したりする力が育つように構成されている。 ・ゲーム的な要素のある活動や作業的・体験的な算数的活動を重視し、主体的な問題解決を通して論理的に考え、知識・技能を獲得できるように工夫されている。また、学んだことを日常生活の中で生かせるように工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・図や半具体物と関連付け、式の意味を確認しながら学習できるよう工夫されている。 ・複数の考え方を示し、それぞれを比較する中で思考力表現力を高める工夫をしている。 ・「学びの手引き」として数直線のかき方や二等辺三角形のかき方などの手順を分かりやすくまとめていて、活用しやすいように工夫されている。 ・学年末に総合的な活用問題「算数を使って考えよう」が特設され、身の回りの事象に結びつける工夫をしている。 ・巻頭に問題解決型学習を意識した流れが例示されており、学習の仕方を身に付けさせようとする工夫がある。 ・巻末に習熟度の程度に応じて問題を選べるようになっている。 ・随所に、キャラクターによる既習事項を生かしたり発展的な見方を促したりする言葉がけがなされている。 ・各単元に活用を意図した課題が設けられ、実生活への活用や算数のよさが実感できるよう工夫されている。 ・吹き出しを細かく用いて、子どもの言葉で課題解決できる授業展開の工夫がされている。 ・テープ図、数直線図の学びのページ、ノート指導のページが特設され、表現力を高める手立てが多く示されている。 	

項目 発者	特 色		総 括
	資 料	表記・表現	
11 学校 図書	<ul style="list-style-type: none"> ・切り離して用いることができる折り込みページが用意され、操作活動を通して理解できるように工夫されている。 ・導入場面で具体的な写真が使われているため、学習内容がイメージしやすい。 ・6年生に中学校との接続が図れるよう「中学校へのかけ橋」が別冊になっている。 ・身近に存在する算数的な事象や教材を写真で紹介し、算数への興味を深めるとともに、有用性に気付けるよう工夫されている。 ・要所に「学びの準備」ページを設け、既習の振り返り、補充ができるよう工夫されている。 ・巻末に「この本でできたことば」として、算数の用語等が索引できるように示されている。 ・巻末に学習した言葉や記号の索引があり、振り返りやすくなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書に式や計算を書き込みながら考えをまとめるような構成になっている。 ・算数的活動を意図した問題に、は「活動マーク」をつけ活動しながら学習できるようにしている。 ・新しい用語や記号、単位は太字で書かれ、読み方や書き順が示されている。 ・算数用語以外の言葉の指導が設けられており、言語活動を意図している ・目次、単元番号や問題文枠を学期ごとに色を変え、各学期の学習が分かりやすくなるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1, 5, 6年は上下巻の合冊になっている。 ・前学年までの学習内容との関連が分かるように、系統性を意識した目次が示されている。 ・巻頭に、教科書を効果的に使うための説明が書かれ、自分で学習を進められるよう工夫されている。 ・小問や考え方のヒントが細かく用意され、主体的に学べるよう工夫されている。
17 教育 出版	<ul style="list-style-type: none"> ・昭和10年代の算数の教科書を紹介し、算数を通して伝統と文化を尊重する態度が養われるような工夫がなされている。 ・巻末裏表紙に、我が国の科学技術の話題を取り上げ、産業や自分の将来の進路に関心が高められるよう工夫されている。 ・巻頭で「算数で使いたい考え方」のページを設け数学的な考え方を明記し、学習に活かせるようにしている。 ・巻末に「学びのマップ」ページがあり、前学年との系統が明記されている。また、学習内容が端的にまとめられており、定着や次学年へのつながりが意識されている。 ・「さくいん」を設け、振り返りやすい工夫がなされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定義や公式、計算の基本型、新出用語は、色つき囲みで強調されている。 ・単元のまとめでは、4コマ漫画で学習内容を振り返り、分かりやすいものになっている。 ・適用問題に小タイトルが付けられ、ねらいを明確にして練習問題ができるように工夫されている。 ・要所に、参考にするページが示され、自力解決時に必要な既習事項の振り返りや手だてが探せるように工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1, 5, 6年が上下巻の合本になっている。 ・間違えやすい個所に、その例を示し、誤答を減らす工夫をしている。 ・算数的活動をもとに問題解決学習の展開ができるよう配慮している。「はてな?」「なるほど!」が随所に示され、児童の思考に沿って学習内容の理解がなされるように工夫をしている。 ・基礎基本の定着のため、補充・活用・発展の問題が十分用意されている。巻末には「きほん」「レベルアップ」の問題を設け、習熟度に応じた問題選択ができ、家庭学習にも使える工夫もされている。 ・児童の言葉による表現や説明のモデルが示され、考え方を比べたり図と関連付けたりして、思考力や表現力を育て、学び合いができるようにしている。

項目 発者	教育基本法、学校教育法の下の小学校教育指導要領の教科の目標とのかかわり	特 色	
		内 容	
61 啓林館	<ul style="list-style-type: none"> 既習事項の活用や算数的活動を通して問題解決したり、繰り返し学習を行ったりして、基礎的な知識と技能の定着が図れるように配慮されている。 身近な生活場面や既習事項と関連させた問題場面から課題がもてるように、見通しをもって問題解決できるように工夫されている。 解決に役立つ考え方をいくつか取り上げたり、表現方法を示したりして、思考力や表現力を育てるよう工夫している。 身近な場面から問題設定し、学習への関心を高め、さらに学んだことを身の回りにあるものと関連させ、活用する活動を取り入れ、数理的な処理のよさに気付くことができるように工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 巻末に学習内容を活用するページや多くの補充問題が用意されており、基礎基本の定着を図る工夫がされている。 既習事項の活用や算数的活動を通して問題解決したり、繰り返し学習を行ったりして、基礎基本の定着が図れるように配慮されている。 身近な場面や既習事項と関連させた問題場面から課題がもてるように、見通しをもって問題解決できるように工夫されている。 解決に役立つ考え方をいくつか取り上げたり、表現方法を示したりして、思考力や表現力を育てるよう工夫されている。 学習ヒント、考えのきっかけ、振り返り、感想の具体例を提示し、問題解決の見通しをもたせるようにするとともに、表現力を養う工夫がされている。 生活体験をもとに問題設定し、学習への関心を高めるとともに、学んだ事を身の回りのものと関連させながら、活用する活動を取り入れ、数理的な処理のよさに気付くことができるように工夫されている。 ノート指導、作図指導を丁寧に扱い、表現力の育成に配慮されている。 	
116 日本文教出版	<ul style="list-style-type: none"> 既習事項と結び付けて課題を設定し、自力解決をしたり、繰り返し確認できる練習や復習の問題を設定したりして、基礎的な知識・技能の理解や定着が進められるように工夫されている。 問題解決型の学習を進んで取り上げ、学習の流れを明記している。また、考え方の視点や、考えを伝え話し合うための具体的な例を示し、思考力、表現力、コミュニケーション力を伸ばせるように工夫されている。 算数的活動を重視し、問題解決的学習が進められるよう工夫されている。 学習したことを生活場面や他の場面に生かせるような内容が多く取り上げられている。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元前に関連する既習事項を確認するページを設け、その単元で用いられる知識・技能が復習できるようになっている。 単元末に学習内容、巻末で今後の学習のもとになることを振り返り確認することで、基礎基本の定着ができるような構成が工夫されている。 巻頭にノート指導のページを設け、表現力の育成を図っている。 単元末のページに、作業的・体験的な活動や学習したことを活かす活動ができるページを設け、活用の充実を図っている。 複数のやり方を並べ、それぞれの考え方を比較検討する活動を重視している。「まず」「次に」「だから」など話型の例を挙げている。 問題場面とテープ図、言葉、式をつなげての説明や、テープ図の見方の取り上げなど、系統的に数量関係を把握する指導ができるよう工夫されている。 説明や話し合いを促す発問を示し、根拠の理由等を記述する場面を取り入れている。 復習ページに「まちがいやすい問題」を設定し、基礎基本の定着を図っている。 振り返り問題に、知識・技能・思考のどれに関連するかを表すワードが明記され、どこが課題かが分かるような工夫がされている。 	

項目 発者	特 色		総 括
	資 料	表記・表現	
61 啓林館	<ul style="list-style-type: none"> 高学年巻頭に仕事紹介のページを入れ、キャリア教育関係の資料を入れている。 見開きページを用いて身の回りの事象の写真を載せ、興味・関心を高める工夫がされている。 巻末に身の回りで算数が活用されている場面をまとめて取り上げている。 巻末に「算数資料集」を特設し、学習のまとめや活用ができるよう工夫されている。 巻末に、分度器、ものさし、九九盤など学習に関する切り抜き教材があり、学習に活かせる工夫がされている。 6年巻末に「中学校で学ぶ数学の簡単なしょうかい」を設け、数学への関心を高める工夫がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> 巻頭（目次）に前学年までの学習との関連を示している。 本時のめあてを朱色、まとめを青など、色や囲み枠を付けて示している。 新しい用語や記号、単位は太字や大文字で強調され、読み方や書き順が示されている。 定義、公式、重要事項、計算の基本形は囲みや色付けで強調されている。 主たる学習ページを青で、活用のページを緑に色分けして活用を強調している。 式や数値を書き込みするスペースが多く用いられている。 	<ul style="list-style-type: none"> 1, 5, 6年が上下巻の合本になっている。 目次に、前学年との関連単元を明記している。 線分図、テープ図、数直線図など多様な図表示を用い、数量関係を表している。 巻頭に学習の進め方を例示するページがあり、問題解決学習が効果的に進められるよう工夫されている。
116 日本文教出版	<ul style="list-style-type: none"> 身近な生活の中から算数に関する題材を写真と絵で取り上げている。 グラフ活用場面で、防災をテーマにした新聞づくりを扱っている。 巻頭に、算数の学習を進めるにあたり、どのように考え、進めてゆけばよいのかが見開きで例示されている。 巻末に「学び方ガイド」や用語のまとめが厚手の用紙で織り込まれており、切り取って学習に活かせるよう工夫されている。 6年3学期の単元に算数の歴史や算数のふしぎなどを探っていくページを設定し、興味のわく資料を配置している。 	<ul style="list-style-type: none"> ページの右側は色分けされ、考え方のヒントや視点などが吹き出し等を用いて丁寧に示されている。 定義、公式、重要事項は色付き枠や太字を用いて表記されている。 大きめの図を示し、問題解決に活用しやすいように工夫をしている。 随所に書き込みスペースが確保されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 1年のみ上下巻の合本になっている。 A B版(横長)の幅広い紙面構成のため、ゆとりのある内容配列になっている。また、紙面端にスペースを設け、問題解決の手がかりとなるヒントや学習の手順、着眼点を示している。 巻頭や単元導入時、吹き出し等を活用し、系統性を重視しながら学習が進められるよう工夫されている。 考え方を比較検討する活動が重視され、吹き出しで解答例を例示するなど、言語活動を丁寧に指導する中で、思考力やコミュニケーション力が高められるよう工夫している。

理科 調査資料 作成の観点

項 目	観 点	
教育基本法、学校教育法の下の小 学校学習指導要 領の教科の目標 とのかかわり	<p>○自然の事物・現象に対する関心や意欲を高めるために、どのような配慮がなされているか。</p> <p>○見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に調べる能力や態度を育てるために、どのような配慮がなされているか。</p> <p>○自然の事物・現象についての実感を伴った理解を図り、科学的な見方や考え方を養うために、どのような配慮がなされているか。</p>	
特 色	内 容	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫></p> <p>○基礎的な観察、実験操作の取り上げ方や、基礎的・基本的な科学概念の取り上げ方に、どのような工夫がなされているか。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○観察、実験の結果を整理し考察したり、科学的な言葉や概念を使用して考え説明したりする過程に、どのような工夫がなされているか。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○自然の事物・現象に興味・関心をもち、主体的に問題解決する活動の過程に、どのような工夫がなされているか。</p> <p><さいたま市の目指す子ども像の具現化に向けた工夫></p> <p>○「クリティカル・シンキングのできる子ども」をはぐくむために、どのような工夫がなされているか。</p> <p>○「コミュニケーション」の力をはぐくむために、他者とのかかわりながら活動する上で、どのような工夫がなされているか。</p>
	資 料	<p>○学習効果を高めるため、どのような資料が用意されているか。</p> <p>○挿絵・写真・図表などの位置と本文との関連に、どのような工夫がなされているか。</p>
	表記・表現	<p>○記号・用語・単位などの使い方に、どのような工夫がなされているか。</p> <p>○教材や内容の文章表現の難易度について、児童の発達の段階からどのような配慮がなされているか。</p>
総 括	(全体的な特徴、その他)	

教科用図書調査専門員会報告書
(小学校 理科)

項目 発行者	教育基本法、学校教育法の下の小学校教育指導要領の教科の目標とのかかわり	特 色 内 容
2 東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決の流れが巻頭において示されるとともに、各単元の中でも緑色のラインを用いて一目で分かるように示されている。 ・単元の始めに、これまでの学習との関連を想起させる内容や問題意識を高める事象が示されている。 ・見通しをもって観察、実験を行う工夫として、予想を話し合い、自分の考えをもたせた上で、観察、実験へとつなげている。 ・自然を愛する心情をはぐくむ視点から、持続可能な社会の構築に向け、生命尊重や環境保全の意識を高める内容が示されている。 ・防災・減災に関する日頃の取組や、生命を守る行動について考える活動が取り上げられている。 ・「思い出そう」により、学年間の系統性を意識させている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元末の「たしかめよう」では、各問題を「知識・理解」「技能」「思考・表現」といった観点別評価の観点に沿ったものとし、学習状況を把握できるようにになっている。 ・「説明しよう」では、学習した内容を活用して身近な事象などを説明することで、思考力・表現力を高めるよう工夫されている。 ・「問題をつかもう」→「問題」というように、学習への動機付けが丁寧に記され、児童の主体的な問題解決学習につなげている。 ・問題をつかむ場面や、観察、実験の計画や考察の場面において、対話する場面を想起できるようにするとともに、思考を深められるようになっている。
4 大日本図書	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に理科の学び方が示され、各学年で重視されている問題解決の能力を具体的に示し、意識付けが図られている。 ・見通しをもって観察、実験ができるように、既習事項や生活経験を基にした予想や仮説が提示されている。 ・実感を伴った理解を図るため、「りかのたまてばこ」などの資料の中で、実際の自然や生活との関係が様々な視点で掲載されている。 ・「ジャンプ」では、次学年以降で学習することが示され、上位学年との内容の系統性を踏まえた学習指導に生かすことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「考えよう」では、調べたことからどのようなことが言えるかを考える視点を示すことで、児童が考察できるよう工夫され、思考力・表現力の育成を図れるようになっている。 ・「学んだことを生かそう」では、身近な事象について説明することを通して思考力を深め、科学的な見方や考え方が高められるような学習活動になっている。 ・単元の始めに、既習の内容が想起できるようにしており、関心を高め、主体的な学習へとつなげやすいようになっている。 ・「話し合おう」「計画を立てよう」等の項目の中で、コミュニケーション能力の育成を図ることができるようになっている。

(小学校 理科)

項目 発行者	特色		総括
	資料	表記・表現	
2 東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> 写真が大きく鮮明であり、細かいところまで見やすく、生活とのかかわりに関するものが用いられている。 巻末資料には、観察、実験の際の基礎的内容や理科の学び方等が豊富に掲載されていて、そのつど確認していくことで知識・技能の定着が図られている。 「理科のひろば」は、学習内容が活用されている様子や発展的な話題など児童の興味・関心を喚起する内容である。 	<ul style="list-style-type: none"> 読みやすく文章の意味を理解しやすいように、単語や文節で改行されている。 文字が大きくみやすい。「問題」「まとめ」などの文字が大きく示されており、見やすく、見落としが少ない。 マークは必要最低限に抑えられており、各活動の流れが把握しやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> 問題解決の過程が重視され、まとまりが緑色のラインで示されていて分かりやすい。また、観察、実験の結果とその結果から分かることは、区別して示されている。 単元の終わりに「たしかめよう」があり、知識・技能の定着を図るとともに、活用する力の育成を図る工夫がみられる。 観察、実験の方法は大きなイラストで分かりやすく、学習内容と生活に関する写真が用いられ、問題解決への意欲を醸成するように工夫されている。 活発な言語活動を促すため、自分の考えをもち、交流させることを重視することで、考えを深めさせ、思考力を深めようとする工夫がみられる。
4 大日本図書	<ul style="list-style-type: none"> 「りかのたまてばこ」や「ジャンプ」、科学者の業績などの資料が充実していて、実感を伴った理解への一助となっている。 顕微鏡や気体検知管の使い方等の折り込みを掲載し、器具の操作に習熟させる工夫がされている。 実験の方法が、いくつか提示されていて、思考力を深める工夫がなされている。 	<ul style="list-style-type: none"> 読みやすく文章の意味を理解しやすいように、単語や文節で改行されている。 注意は赤文字で書かれ、赤の枠線で囲まれ目立つように記されている。また、理由も合わせて記述されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 他学年との内容の系統性を踏まえた上で、既習事項の振り返りを重視し、学習後には発展的な資料を掲載し、知識・技能の習得が図られている。 「りかのたまてばこ」や「ジャンプ」の資料が充実していて、科学への興味・関心に応えるものになっている。 文章の意味を理解しやすいように、単語や文節で改行するなど児童に分かりやすく配慮した表記になっている。

教科用図書調査専門員会報告書
(小学校 理科)

項目 発行者	教育基本法、学校教育法の下の小学校教育指導要領の教科の目標とのかかわり	特色
		内容
11 学 校 図 書	<ul style="list-style-type: none"> ・ 巻頭において、問題解決の流れを当該学年の学習内容を用いて示すとともに、当該学年で学ぶ問題解決の方法と、前学年までに重点的に学んできた問題解決の方法を掲載し、理科の学び方の定着が図られている。 ・ 実感を伴った理解を図る工夫として、理科が仕事や生活に生きている場面が学習内容に関連させた資料として掲載されている。 ・ 単元の始めに既習事項、観察、実験で使う物、及び大まかな単元の流れを写真で掲載し、既習事項を生かしながら見通しをもって学習を進められるように工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観察、実験の方法を分かりやすく示すとともに実験器具の使い方を巻末のページにまとめ、観察、実験の技能が高められるように工夫されている。 ・ 分かっていることと考えられることを区別し、考察のポイントが示されている。 ・ 単元の最後の「活用しよう」では、学習内容を活用した説明活動が設定されている。 ・ 学習の流れに「話し合い」の項目を設け、言語活動の充実を図るとともに、児童相互のコミュニケーション能力の育成が図られるように工夫されている。
17 教 育 出 版	<ul style="list-style-type: none"> ・ 巻頭において、問題解決の流れが当該学年の内容と関連させて掲載されている。 ・ 問題解決の中でも、特に問題を見いだす過程が丁寧に扱われ、児童の思考の流れを大切にしている。 ・ 学習内容に関連した「しりょう」を掲載したり、単元の終わりに「学んだことを使おう」を掲載したりして、ものづくりをしながら科学への興味・関心を高め、実感を伴った理解が得られるようにしている。 ・ 「学習のつながり」を単元の最初のページに掲載し、単元の系統性が分かるように示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「ノートの使い方」を示すページが設けられ、結果と分かったことを分けて書くことを示し、問題解決の過程を書き記しながら、表現力の育成を図るようにしている。 ・ 「結果から考えよう」では、様々な班の結果が載っていて、違う結果が出たときに、どのように考えるかが記載されている。 ・ 「学んだことを使おう」では、実生活につなげた現象を取り上げるとともに、言語活動の充実が図られるよう説明する場面も設けている。

(小学校 理科)

項目 発行者	特色		総括
	資料	表記・表現	
11 学 校 図 書	<ul style="list-style-type: none"> 写真が鮮明で見やすく、児童の生き生きとした活動の様子が掲載され、興味・関心を高める工夫がされている。 巻末に豊富な資料や学習した語句の索引を設け、学習を振り返る際や調べる際に活用できるように工夫されている。 科学者について紹介するページを設け、科学への興味・関心を高める工夫がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ページの左右に「学びの流れのマーク」があり、問題解決の流れを追えるようになっている。 科学的な用語が「大事な言葉」として枠で囲まれており、振り返りの際に一目で分かるように工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 問題解決の能力を育成するために、問題解決の流れを常に明確にし、確かな学力の定着が図られている。 話し合い活動を要所に取り入れており、科学的な用語を別枠でピックアップするなど、言語活動の充実と表現力の育成が図られている。 理科を学ぶ意義を感じられるように生活経験から入る導入と生活経験を想起させる場面、理科が仕事や生活と関連するコラムが取り上げられている。
17 教 育 出 版	<ul style="list-style-type: none"> 巻末に「生き物ミニずかん」や「天体ミニずかん」等、児童の興味を高める資料が掲載されている。 専門家からのメッセージを掲載し、学ぶ意欲を高める工夫がされている。 単元末の資料は、実生活との関連が強く意識された内容になっている。 裏表紙に安全の手引きが掲載され、目にする機会が多くなるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 問題は「はてな?」、観察、実験は「調べよう」、まとめは「わかった」と、問題解決の流れが分かりやすい色の枠線で可視化できるよう工夫されている。 吹き出しを多く用いることで、児童の思考の手助けをするとともに、科学的な思考力を育てる工夫がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> 問題解決の能力を育成するために、巻頭に学習の流れを提示するとともに、マークで学習がナビゲートされている。 一つの実験に対して様々な実験結果を載せることで、その結果を基に互いに意見を交流でき、思考力の向上が図られている。 話し合いの場面では、実際の授業風景のイラストや多くのつぶやきが掲載されており、児童の思考を促す工夫がなされている。 系統的な学びを重視し、各単元の冒頭に学習のつながりが分かるように工夫されている。

教科用図書調査専門委員会報告書
(小学校 理科)

項目 発行者	教育基本法、学校教育法の下の小学校教育 学習指導要領の教科の目標とのかかわり	特 色
		内 容
26 信 州 教 育 出 版 社	<ul style="list-style-type: none"> ・ 巻頭で1年間の学習内容が示され、児童に学習の見通しをもたせたり、学習意欲を高めたりできるようにしている。 ・ 意欲をもって自ら疑問をもてるように、身近な自然や身の回りの科学的な事物や現象から問い掛けが示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 信濃地方の季節（時期）に応じた単元配列になっている。 ・ 学習カードやノート書き表し方の例が多く掲載されており、参考にさせることで、ノート指導等を充実させ、表現力の育成を図ることができるように工夫されている。 ・ 観察、実験時の注意事項が詳しく示されており、直接体験を重視した内容となっている。 ・ 観察、実験結果では、「考えてみよう」の項目として話し合い活動が設定されている。
61 新 興 出 版 社 啓 林 館	<ul style="list-style-type: none"> ・ 巻頭では、問題解決の流れを当該学年の内容の写真やイラストを用いて示し、問題解決の重点が文章で分かりやすく示されている。 ・ 「ひろげよう」や「ものづくり広場」では、実社会・実生活でのつながりやかかわりが感じられるようになっていて、実感を伴った理解が深まるように工夫されている。 ・ 基礎学力の定着が図られるよう、「わくわく理科プラス」として別冊教科書が設けられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎的・基本的な知識の定着を図るため、各単元末には「たしかめよう」が設定されている。また、単元で使用する器具や実験方法が一覧で集約されている。 ・ 単元ごとに「まとめよう」があり、学習した大切な内容が一目で分かるようにまとめられている。また、ノート指導にも役立つまとめ方になっている。 ・ 実験計画や考察場面において、話し合い活動が設定されており、コミュニケーション能力の育成が図られている。

(小学校 理科)

項目 発行者	特色		総括
	資料	表記・表現	
26 信州教育出版社	<ul style="list-style-type: none"> ・ 場面に応じてズームアップし、観察、実験の装置や様子が分かるように写真が工夫されている。 ・ 「やってみよう」「はってん」では、学習内容を別の視点で追究する方法が紹介されている。 ・ 各単元に発展的な読み物が掲載されており、学習への意欲付けを図るために効果的である。 ・ 地域性に富んだ写真資料が多く取り上げられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書がB5判である。 ・ 学習カード例、ノート例で、イラストが多用されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観察、実験、飼育、栽培などの直接体験が重視された構成になっていて、児童の興味・関心や主体性を大事にしている。 ・ 各観察、実験ともに結果の書き方が丁寧で分かりやすい。 ・ 全体的に信濃地方の地域資料が豊富に掲載されている。
61 新興出版社啓林館	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高学年の教科書巻末に地域資料集が掲載されており、自分たちの地域と他の地域を比べることができる。 ・ 巻末において「読んでもみよう理科の本」の項目を設け、科学への興味・関心を高める工夫がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書とリンクし、書き込みができる「わくわく理科プラス」という別冊教科書と2冊組になっている。 ・ 「結果」と「結果から分かること（考察）」の表記を分け、事象と思考する内容がはっきりと区別されている。 ・ 子どもの吹き出しがあり、疑問や予想をもてたり、計画を立てたり、学習したことを確かめられたりできるようになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 別冊教科書（わくわく理科プラス）を併用することで、効果的に学習を進められるようになっている。 ・ 「ひろげよう」や「ものづくり広場」などの学習を通して、実感を伴った理解が深まるようになっている。 ・ 問題解決の流れが分かりやすい。また、結果と考察の違いも分かるように表記されている。

※信州教育出版社については、平成26年度調査専門員会報告書から引用。

教科用図書調査専門員会報告書

(小学校 生活)

項目 発行者	教育基本法、学校教育法の下的小学校 学習指導要領の教科の目標とのかかわり	特 色
		内 容
2 東 京 書 籍	<ul style="list-style-type: none"> ・『小単元名』で「具体的な学習活動」が、『本文』で「目当て」が、『吹き出し』『記録カード』などで「児童の気付き」が分かりやすく示されているとともに、児童が主体的に活動できるようねらいも工夫されている。 ・児童の思いと学習のねらいを両立した活動ができるように、多様で具体的な活動例が掲載されている。 ・「じぶんのことをふりかえろう」の設定等、児童がかかわった対象への気付きだけでなく、自分の成長に気付き、自立への基礎が養えるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・入学当初に身に付けさせたい内容がよく整理され、充実していて、小学校生活が円滑にスタートできるよう、配慮されている。 ・おもちゃ作りでは、身近にあるものを使って試行錯誤しながら、作って遊べるように工夫されている。 ・自分のよさや可能性、成長などへの気付きを促すようにそれらを表現した作品例が豊富である。 ・様々な場面や状況に応じた人との関わり方が具体的に示されている。
4 大 日 本 図 書	<ul style="list-style-type: none"> ・人と関わる場面をはじめ、児童の生き生きした表情の写真が多く、活動意欲を高めるように配慮されている。 ・地域や自然に興味をもたせる工夫がみられ、季節にそって身近な伝統に気付かせるよう配慮されている。 ・豊富な写真や言語に関する資料を参考に、児童自らが活動を広げることができる工夫がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一つの事柄について多くの情報が掲載され、幅広い知識を習得できるよう工夫されている。 ・おもちゃ作りでは、何度も作り直せるような投げ掛けが多く、科学的な見方・考え方の基礎を養う工夫がみられる。 ・地域への愛着をはぐくむため、地域の人々と繰り返し関わる町探検が設定されている。
11 学 校 図 書	<ul style="list-style-type: none"> ・活動や体験の内容ごとにテーマをもった大単元として構成し、見通しをもって学習できるように配慮されている。 ・各大単元が長期的に継続した活動として設定されているので、人々や社会、自然などと繰り返しかかわり、気付きを質的に高められるように配慮されている。 ・4人のキャラクターが成長し自立する姿が、具体的に見えるように配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1日の学校生活や安全な登下校が分かりやすく紹介され、学校生活が円滑にスタートできるよう配慮されている。 ・学習カードの書き方が、詳しく分かりやすく説明されている。 ・気付きのヒントになるような会話が示され、その後の思考の深まりを促している。 ・自分の成長を振り返る活動を通じて自分の成長に気付くとともに、自分を大切にする心を育てるよう配慮されている。

(小学校 生活)

項目 発行者	特 色		総 括
	資 料	表記・表現	
2 東 京 書 籍	<ul style="list-style-type: none"> 主体的、かつ安全に活動に取り組むための資料と、児童や教師の参考になるカードが豊富である。 表現活動の例示が豊富であり、言語活動の充実を図り、コミュニケーション力を身に付けさせる工夫がされている。 本市の防災倉庫、鉄道博物館が掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 知的好奇心を高め、意欲を引き出す写真と挿絵が豊富である。 紙面全体が落ち着いた暖かい色調で統一され、紙面のレイアウトが原則として固定されているため、統一感がある。 文節で改行され、読みやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> 幼児教育との接続や言語活動・表現活動の充実によく配慮されている。 身に付けさせたい知識、言葉、きまり等が明確で、気付きを促す吹き出しやつぶやきもよく整理されている。 児童にとって、「べんりてちょう」等読みやすく活用できる資料が豊富である。「ポケットずかん」は切り離しができ、フィールドワーク等で活用ができる。
4 大 日 本 図 書	<ul style="list-style-type: none"> 巻末に「がくしゅうどうぐばこ」を設け、活動を広げるためのヒントや資料が工夫されている。 「せいかつことば」では、語彙力を身に付け活発な伝え合い活動を促す工夫がみられる。 写真が多く、活動がイメージしやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> 折り込みページや仕掛けページなど絵本のよさを取り入れ、活動を促している。 木の葉の型に活動内容が端的な言葉で示されている。 活動に関連し、気付きを深め、さらに広がる情報が右端コラムに掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 右上の木の葉の型から活動内容をつかみ、見通しをもつことができる。 児童の思考を促す投げ掛けが多い。 資料が豊富で充実している。詳しく調べたいことや学習の仕方・表現方法などが示されており、主体的な学習の助けになる。
11 学 校 図 書	<ul style="list-style-type: none"> 「ものしりノート」が活動の中で必要などころにあり、参考にできるようになっている。 「チャレンジずかん」で、児童が自ら活動を広げられるように配慮されている。 巻末「学び方図かん」には基本的な学習技能が示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 挿絵は淡い色調で統一されている。 大単元の扉ページは、学習への期待感を高める工夫がされている。 「ちゅうい」の記号が分かりやすい。 全体的にシンプルなレイアウトである。 見開きページで見やすい。 	<ul style="list-style-type: none"> 上下巻とも活動をテーマに5つの大単元で構成されており、長期間にわたる活動の流れがつかみやすくなっている。 4人のキャラクターの子どもたちの様々な交流場面を自然な形で児童に示し、児童が自ら読み取り、気付きを促すように配慮されている。 「ものしりノート」など、資料コーナーが充実している。

教科用図書調査専門員会報告書

(小学校 生活)

項目 発行者	教育基本法、学校教育法の下的小学校 学習指導要領の教科の目標とのかかわり	特 色	
		内 容	
17 教 育 出 版	<ul style="list-style-type: none"> ・活動のめあてが小単元ごとに具体的な言葉で明記され、児童自らが目的意識をもって取り組めるようになっている。 ・単元ごとに自分を振り返ったり、家族に伝えて学習を振り返ったりすることで、さらに学習活動が広がるよう工夫されている。 ・全単元に友達や保護者、地域の人々との交流活動が設定されている。 ・他教科等との関連を重視し、教科関連マーク等で示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園や保育園の生活と小学校の生活を比べる学習から始めることにより、学校生活への不安が軽減できるよう工夫されている。 ・学習内容ごとに、必要な知識や技能を示すコーナーが設けられている。 ・おもちゃを作る活動では、比べたり試したりを繰り返しながら思考を深めるように工夫されている。 ・地域の人との関わりを重視し、インタビューすることで地域に愛着をもつことができるように工夫されている。 	
26 信 州 教 育 出 版 社	<ul style="list-style-type: none"> ・信州の豊かな自然を生かし、対象と繰り返し関わる姿や生命について丁寧に関わる姿が描かれ、児童の意欲を喚起している。 ・児童が家庭や学校で実践してみたいと思えるような伝統行事や文化が教材化されている。 ・地域を生かした児童の具体的な活動が展開されるように紹介されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・季節ごとの時系列の単元配列であり、季節による自然の違いや、遊びの違いが描かれていて、児童が今何を学ぶのかを意識しやすい。 ・目的意識をもって、畑の活用を考えて取り組む大豆栽培学習が設定されている。 ・飼育では、ウサギを中核にヤギ、カイク、カタツムリ、アイガモなどが紹介されている。 ・人と関わり合いながら過ごす伝統行事が多く掲載されている。 	
38 光 村 図 書 出 版	<ul style="list-style-type: none"> ・「ホップ」「ステップ」「ジャンプ」の3段階構成により、児童が自分なりの目的意識をもって活動に取り組み、進んで活動を展開できるよう工夫されている。 ・「ステップ」では、児童が身近な人々、社会及び自然と関わる中で自分なりの価値や楽しさを実感しながら活動を展開していく様子が示されている。 ・「ジャンプ」では、自分自身や友だちのよさに気付くことができるように伝え合う場が設けられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スタートカリキュラムでは先生や友達と一緒に歌って仲よくなれるよう、オリジナルソングが掲載されている。 ・生き生きと話し、伝える活動が多く掲載されている。 ・活動に取り組む際のヒントコーナーや、様々な学習カードを参考に活動が進められるように配慮されている。 ・今までの自分を振り返り、これからの成長に期待する活動を設定し、自分の成長を発表したり、まわりの人と交流したりする例が示されている。 	

(小学校 生活)

項目 発行者	特 色		総 括
	資 料	表記・表現	
17 教 育 出 版	<ul style="list-style-type: none"> ・身に付けさせたい習慣や技能は、繰り返し活用できるように巻末にまとめてある。 ・学習カードの例示には児童の記録だけでなく教師のコメントがあり、気付きや思考を促す言葉掛けが紹介されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的で簡潔な言葉で表現されている。 ・カードの文字が整っていて読みやすい。 ・大切な情報を、单元ごとに色を変えて、それぞれのページの同じ位置に配置し見やすくしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・シンプルなレイアウトで見やすい。 ・活動の目当てが小单元ごとに、児童の思考を促す具体的な言葉で明記されている。 ・学習内容を深めたり、家庭へ広げたりする工夫がなされている。(おしゃべりタイム、はってん、おうちでチャレンジ) ・「生活科ノート」の書き込みにより、学習の記録と活用、定着に生かせる。
26 信 州 教 育 出 版 社	<ul style="list-style-type: none"> ・「みつけてみよう」は、地域の「わたしたちがすむ町」の発展学習として、写真で分かりやすく掲載されている。 ・「いつものさんぽみち」は見開きページとなっていて、動植物が図鑑のように示されている。 ・長野県に密着した資料が豊富である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・B5判の縦書き表記である。 ・文字の大きさや色が統一されている。 ・伝統文化や行事の单元では、切り絵を用いている。 ・学習カードは記載例ではなく、形式例となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域密着型の内容となっており、信州の自然・人々・文化等に直接関わる活動を通して地域への愛着が深まるような構成となっている。 ・写真や挿絵の中に、学習活動を支えている教師の「立ち位置」も示されている。
38 光 村 図 書 出 版	<ul style="list-style-type: none"> ・「きせつのおくりもの」では、四季のイラストの中に変化していく町の様子や人々のかかわりの物語が隠されている。 ・「もっとやってみたい」では、活動を継続するためのヒントが掲載されている。 ・写真は、子ども目線でダイナミックであり、イラストも美しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・複数の写真やイラストを組み合わせたページは、境界がはっきり示されている。 ・活動のめあてが必要最低限の文字で書かれ、活動を促す絵や写真が多く、シンプルな構成である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動のまとめりごとに单元が構成されているので、児童や地域の実態に応じて自由に单元を組み換えることができる。 ・児童自ら考える力が育つような工夫がされている。

教科用図書調査専門員会報告書

(小学校 生活)

項目 発行者	教育基本法、学校教育法の下的小学校 学習指導要領の教科の目標とのかかわり	特 色
		内 容
61 新興 出版 社 啓 林 館	<ul style="list-style-type: none"> 各単元を、導入・主活動・伝え合い・深めるという4段階で構成し、見通しをもって活動が進められるように工夫されている。 多様な活動例が紹介され、その中から学校の実態や児童の思いに合わせて選択できるように構成されている。 公園や町の定点観測により、季節の変化等に気付けるよう配慮されている。 公共の意識やマナー、情報と交流の手段、活用場面、基本的な生活習慣を意識した行動など、「自立への基礎」が養われるような構成である。 	<ul style="list-style-type: none"> スタートカリキュラムでは、絵本のよ うなイラストを中心に、登下校の安全 や1日の学校生活の様子が分かりやす く表現されている。 1対1やグループで、実物を持ってな ど、多様な伝え合い活動を通して、活 動に広がりが出るような展開例が示さ れている。 児童が世話できるようにバツタをメイ ン素材として展開し、命の変化に気付 かせるようにダイナミックな写真を使 用した単元が設定されている。
116 日 本 文 教 出 版	<ul style="list-style-type: none"> 説明文については最小限にとどめ、魅 力的・創造的な活動場面の写真を多く 掲載して学習意欲を喚起している。 各単元を通して身近な人々や社会・自 然との関わりを大切にした活動が随所 に取り入れられ、継続して関わること の楽しさを味わうことができる内容に 構成されている。 健康や安全等の基本的な生活習慣や学 習技能、公共のルールやマナーなどは 各単元内、及び巻末資料で具体的に説 明されている。 	<ul style="list-style-type: none"> スタートカリキュラムでは、学校生活 に適應できるよう、入学当初の様々な 場面が取り上げられている。 四季の公園の様子や体全体を使った自 然と触れ合う活動の充実により、自然 の不思議や面白さに気付くように工夫 されている。 様々な手段で伝え合う活動が紹介され ており、表現力やコミュニケーション 能力の育成に配慮されている。

(小学校 生活)

項目 発行者	特 色		総 括
	資 料	表記・表現	
61 新興出版社啓林館	<ul style="list-style-type: none"> 別冊「たんけんブック」は活動の場に持ち運びしやすい。 巻末資料では、多様な言語活動例が示されている。 活動のヒントになるような黒板や掲示物、教室づくりが掲載されている。 各種コーナーを右端に集め、本文部分をすっきりさせている。 本市の鈴谷公民館、防災倉庫の写真が掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 挿絵は、淡い色調である。 動植物の写真が大きく、インパクトがある。 キャラクターの吹き出しの文字が漫画風で目立ち、児童が関心をもちやすく、気付きを促す投げ掛けがされている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各単元が「わくわく」「いきいき」「つたえあおう」「ちゃれんじ」の4段階で統一され、単元を通して活動が深められるように工夫されている。 各見開きでは、小単元タイトルを「先生の投げかけ」、本文を「こどもの思い」と端的に表現し、活動内容や目当てが分かりやすく示されている。
116 日本文教出版	<ul style="list-style-type: none"> 「なんでもずかん」では、どの単元でも使える内容や発展的な内容が豊富である。 教科書上部の定位置にページのリンクを設定し、本文の内容と区別してアドバイスや活動の広がりになっ役立つ構成になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもが疑問に感じたことや不思議に思ったことを中心に吹き出しで表現し、興味・関心を引き出す工夫をしている。 単元ごとにイメージカラーとデザインが設定されている。 学習カード例の形式が多様である。 	<ul style="list-style-type: none"> 一つの単元が、課題設定→活動→振り返りという構成となっている。 左から右へストーリーが展開するため、活動の流れが分かりやすい。 活動のきっかけや観点を示唆する豊富なカードの例示がされている。

※信州教育出版社については、平成26年度調査専門員会報告書から引用。

教科用図書調査専門員会報告書

(小学校 音楽)

項目 発行者	教育基本法、学校教育法の下の小学校教育 学習指導要領の教科の目標とのかかわり	特 色
		内 容
17 教 育 出 版	<ul style="list-style-type: none"> ・低・中・高学年の2学年ずつの学習内容のまとまりを重視し、楽しい活動の中で基礎的・基本的な知識・技能を習得させ、音楽を内面から捉えながら表現できる学習へと発展させられるよう工夫されている。 ・我が国の伝統音楽や諸外国の音楽を豊富に扱い、多様な音楽のよさや面白さを感じ取ることができるよう教材の選定が工夫されている。 ・道徳との関連を図った教材の選定がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・数多くの教材を用い、楽しく活動することに重点を置き、その中で基礎的・基本的な知識・技能が習得できるよう工夫されている。 ・音楽の様子を表す言葉の例を掲載し、児童が音楽的な感受を基に、その語群から様子を表す言葉を選んで活動できるよう工夫されている。 ・「音楽づくり」の活動は、教師の裁量によって教材を選択できるよう工夫されている。 ・楽しく音楽に関わることで感性を育成し、児童一人ひとりに豊かな心をはぐくむよう工夫されている。
27 教 育 芸 術 社	<ul style="list-style-type: none"> ・6年間を通して、音楽活動を楽しみながら、無理なく基礎的・基本的事項を身に付け、様々な活動に関連させて学びが深められるよう、教材や題材が段階的・系統的に設定され、音楽の目標が達成できるよう十分配慮されている。 ・我が国や郷土を愛する心をはぐくんだり、他国の文化を尊重する態度を養ったりすることができるよう、我が国の伝統的な音楽文化、郷土の音楽や芸能、諸外国の音楽が適切に取り上げられている。 ・道徳との関連に重点を置き、低学年から系統的な教材配置がなされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の発達の段階を考慮し、歌唱、器楽、鑑賞、音楽づくりの様々な活動を十分に関連させ、無理なく自然に基礎的・基本的な知識・技能が習得できるよう工夫されている。 ・学習活動を楽しむことを通して、音楽的な感受を基に感性を働かせて、自らの言葉で音楽を捉えていくよう配慮されている。 ・「音楽づくり」の活動は、学級担任も含めた全ての教師が取り扱うことができるよう、共通の題材として位置付けられている。また、児童一人ひとりの創造性を培うとともに、協同的な学習活動が行われるよう配慮されている。 ・「音楽づくり」の教材の取扱いを工夫し、他者とも協力しながら進める学習を充実させることにより、「コミュニケーション」をはぐくむ工夫がなされている。

(小学校 音楽)

項目 発行者	特 色		総 括
	資 料	表記・表現	
17 教 育 出 版	<ul style="list-style-type: none"> ・ 共通教材については、特定の楽曲に重きを置き、ページ数を増やして取り扱っている。 ・ 両開きの折込ページや透明なシートを活用し、視覚的に多くの情報を与えられるよう工夫されている。 ・ 「君が代」を『「君が代」は、日本の国歌』として扱い、巻末の資料部分の見開きを使い、歌詞の内容に触れている。 ・ 高度で発展的な内容の資料も取り扱っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各題材の表題は、楽しく活動することを促すための呼びかけの言葉で表現されている。 ・ 各ページや見開き部分には、写真資料等を多く掲載し、イメージを広げる工夫がなされている。 ・ [共通事項] については、教師の指導の手掛かりとなるよう、題材名の下に「音楽を形づくっている要素」として示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「主要部分」と「オプション部分」により構成され、低・中・高学年の2学年ずつの発達の段階を重視した、継続的、発展的な学習ができるよう配慮や工夫がなされている。 ・ 多種多様な教材をオプションとして取り扱い、教師の裁量によって指導ができるよう工夫されている。 ・ 中学校で扱う教材も掲載され、中学校と同様の活動形態で取り扱えるようになっている。 ・ 多くの資料が用意され、指導する教師の資料ともなるように編集されている。
27 教 育 芸 術 社	<ul style="list-style-type: none"> ・ 共通教材については、扱わなければならない楽曲全てを同等に扱い、軽重をつけないよう配慮している。 ・ 歌詞や楽曲を基に、児童自身が発想をふくらませて学習できるよう配慮している。 ・ 「君が代」を『国歌「君が代」』として扱い、各学年の最終ページに掲載して、発達の段階に配慮した解説を付している。 ・ 発達の段階に即した資料を取り扱うことにより、児童が無理なく音楽の力を身に付けられるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各題材の表題は、学習する内容やねらい、評価を踏まえた呼び掛けの言葉で表現されている。 ・ イラスト等は学習内容と関連させて焦点を絞って掲載し、児童が学習内容を理解しやすいよう構成が工夫されている。 ・ [共通事項] については、教師が学習指導要領の趣旨を踏まえて指導計画作成段階において柔軟に組み入れられるよう、工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 6年間を見通した学習の系統性が図られ、教材と活動、題材相互の関連を重視し、学習を楽しみながら、学んだ内容がつながり深まるよう、緻密な構成がなされている。 ・ 発達の段階に即した教材を精選して取り上げ、教師の専門性の有無にかかわらず、児童が音楽表現の楽しさを味わいながら学べるよう配慮されている。 ・ 中学校で扱う教材も掲載され、児童の発達の段階に即した取り上げ方をすることで、中学校でさらに興味をもって取り組めるよう工夫されている。 ・ 題材のねらいを踏まえた学習目標や具体的な活動例が示され、児童が主体的に学ぶことができるよう工夫した編集がされている。

図画工作 調査資料 作成の観点

項 目	観 点	
教育基本法、学校教育法の下の小 学校学習指導要 領の教科の目標 とのかかわり	<p>○表現及び鑑賞の活動を通して、感性を働かせながら、つくりだす喜びを味わうようにするために、どのような工夫がなされているか。</p> <p>○造形的な創造活動の基礎的な能力を培い、豊かな情操を養うために、どのような工夫がなされているか。</p>	
特 色	内 容	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫></p> <p>○造形的な創造活動の基礎的な能力を培う上で、どのような工夫がなされているか。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○感性を働かせながら発想したり構想したりする上で、どのような工夫がなされているか。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○児童が自分に適した表現方法などを選ぶ上で、どのような工夫がなされているか。</p> <p><さいたま市の目指す子ども像の具現化に向けた工夫></p> <p>○「コミュニケーション」の力をはぐくむために、他者とのかかわりながら活動する上で、どのような工夫がなされているか。</p>
	資 料	<p>○発想を高めるために、どのような工夫がなされているか。</p> <p>○基礎的・基本的な内容や表現の過程に関する資料について、どのような工夫がなされているか。</p>
	表 記・表 現	<p>○タイトルの示し方や図版などの説明について、どのような工夫がなされているか。</p> <p>○説明の文章や児童作品等の作者の言葉について、どのような工夫がなされているか。</p>
総 括	(全体的な特徴、その他)	

教科用図書調査専門員会報告書

(小学校 図画工作)

項目 発行者	教育基本法、学校教育法の下の小学校 学習指導要領の教科の目標とのかかわり	特 色 内 容
9 開 隆 堂 出 版	<ul style="list-style-type: none"> ・育てたい力を3つのマークとして示し、題材名の表記の上には、その題材の目当てが示され、学習の目当てをもって活動ができるようになっている。 ・表現と鑑賞が、一体的に学習できるように配慮されている。 ・目次では、学習指導要領に示された教科の目標と領域、用具、材料が一目で分かるように構成されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「パレットコーナー」「道具箱」では、発達の段階に応じた内容、用具、技法が分かりやすく掲載されていて、図画工作の基礎・基本が習得できるようになっている。 ・作品の解説は、児童の思いや願いが表現され、発想のポイント等の小さな囲みが多くあり、児童の活動を促す言葉掛けになっている。 ・児童の製作場面、活動写真、イラスト等を数多く使用し、吹き出しやコメントを加える等、児童が発想の手立てや技法のヒント等から主体的に取り組めるようにしている。 ・題材の最後に「ふりかえって、はなしあおう」を設定し、活動を振り返りながら、コミュニケーションの力を養い、言語活動を充実させることができる。 ・「つながる造形」では、将来の夢などを作品にした写真が掲載されており、社会や未来につながる図画工作が意識されている。
116 日 本 文 教 出 版	<ul style="list-style-type: none"> ・育てたい力が4つの学習の目当てと5つの活動から整理され、題材名の表記の上には、その題材の目当てが示され、学習の目当てをもって活動ができるよう配慮されている。 ・表現と鑑賞が、一体的に学習できるように配慮されている。 ・表紙にあるサブタイトルが、低・中・高の2学年ごとに同一のものになっており、発達の段階に合わせて扱えるように構成されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「使ってみよう 材料と用具」では、発達の段階に応じて身に付けさせたい内容、用具、技法が詳しく掲載してあり、図画工作の基礎・基本が習得できるようになっている。 ・作品の解説は、児童の思いや願いが表現され、活動のヒントをキャラクターの登場で示し、児童がアイデアを出したり、イメージを広げたりするためのポイントが示されている。 ・ねらいや目当てが簡潔で、児童の活動の写真がたくさん載せられており、活動を楽しんでいる児童の様子を参考に主体的に取り組めるようにしている。 ・児童の発言、発表、話合いの言葉を多く表記したり、形や色で印象を表現する活動を設定したりして、コミュニケーションの力を養い、図画工作における言語活動の充実が図られている。 ・「中学校へ向かって」では、中学美術の作品が掲載され、中学校への接続が意識されている。

(小学校 図画工作)

項目 発行者	特 色		総 括
	資 料	表記・表現	
9 開 隆 堂 出 版	<ul style="list-style-type: none"> ・折り込み3ページの「小さな美術館」は、1冊ごとにテーマと、テーマに関係する作家作品と児童作品を載せている。 ・「ゆめをかたちに」「ひらめきコーナー」では、学年で扱う題材に関連させた作品を載せ、児童の意欲を高めている。 ・「みんなのギャラリー」では、地域の暮らしや伝統に意識を向ける内容になっている。 ・「道具箱」では、扱い方を写真等で分かりやすく示している。 ・さいたま市の「岩槻人形」が取り上げられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活字の書体はゴシック体で、コメント等が太字で青く色分けされて見やすい。 ・表紙が色鮮やかで、目を引き付ける。また、表紙の文字のつくりはその学年で扱う素材を使用している。 ・身に付ける力と評価の関連を明確にしてある。 ・目次に主な用具、材料を載せてあり、必要な物が一目で分かるようになっている。 ・ユニバーサルデザインの観点で仕上げられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領で示された項目を軸に、題材が精選され、各学年バランスよく配置されている。児童の実態や学校、地域の特性を生かした活動ができるよう選択題材が設定されている。 ・児童の作品例が数多く示され、児童が多様な表現方法や技法を選択できるように配慮されている。 ・児童が活動する内容が分かる構成になっているため、児童は主体的に取り組むことができ、児童の活動がイメージしやすく授業の流れが把握しやすい構成になっている。 ・各題材には、「目当て」「振り返り」が対応して示され、児童が自己評価できるようになっている。 ・A4判で編集されており、写真や作品が、大きく見やすい。
116 日 本 文 教 出 版	<ul style="list-style-type: none"> ・「教科書美術館」「ぞうけいのもり」「図画工作の広がり」として、作家作品や地域の美術展、伝統的な玩具などを載せて、興味・関心を高めている。 ・裏表紙の「形や色を楽しもう」では、発達の段階に応じたテーマで、書き込みをしながら、生活の中の形や色、デザインを意識して鑑賞できるようになっている。 ・「使ってみよう材料と用具」では、発達の段階に応じて身に付けさせたい内容や技法が詳しく載せてある。 ・さいたま市の「うらわ美術館」が取り上げられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活字の書体はゴシック体で、吹き出しやコメントが内容ごとに色分けされ分かりやすい。 ・主に必要な用具が、一目で分かるようにページ横にイラストで示されている。 ・題材名は、イメージにつながるよう装飾を施して活動意欲を高める工夫がされている。また、左上の隅にある、領域のマークが分かりやすい。 ・目次に、内容を示す写真があり分かりやすい。 ・ユニバーサルデザインの観点で仕上げられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領で示された項目を軸に、題材が系統性のある構成となっている。 ・A4変形判で大きく、写真やイラストが豊富で文字とのバランスも配慮され、見やすく構成されている。 ・児童の活動やプロセスを重視し、写真や図版で活動の流れを具体的に示し、児童が主体的に造形活動に参加できる工夫がなされている。 ・児童の発言や発表、話合いの言葉を多く表記したり、形や色で印象を表現する活動を設定したりして言語活動の充実を図っている。 ・作品や児童の活動の様子の写真が、多く掲載されている。

家庭 調査資料 作成の観点

項 目	観 点
教育基本法、学校教育法の下の小学校教育指導要領の教科の目標とのかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ○日常生活に必要な基礎的・基本的な知識・技能を身に付けるために、どのような工夫がなされているか。 ○家庭生活を大切にすゝる心情をはぐくむために、どのような工夫がなされているか。 ○家族の一員として、生活をよりよくしようとする実践的な態度を育てるために、どのような工夫がなされているか。
特 色	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○日常生活に必要な基礎的・基本的な知識・技能を身に付けさせるために、どのような工夫がなされているか。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習した知識・技能を活用し、生活の課題を解決する能力を育成するために、どのような工夫がなされているか。 <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分の目標や課題を見付け、見通しをもって意欲的に学習に取り組むことができるようにするために、どのような工夫がなされているか。 <p><さいたま市の目指す子ども像の具現化に向けた工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「クリティカル・シンキングのできる子ども」や「自分の言動に責任をもてる子ども」をはぐくむために、どのような工夫がなされているか。 ○中学校の学習につなげるために、教材の系統性についてどのような工夫がなされているか。
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○学習に関心をもたせ、学習効果を高めさせるために、どのような工夫がなされているか。 ○挿絵・写真・図表等、資料と本文との関係及び資料のレイアウトには、どのような工夫がなされているか。
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○タイトル・見出し・説明文などの使い方には、どのような工夫がなされているか。 ○用語・記号・図記号・単位・数値などの使い方には、どのような工夫がなされているか。
総 括	(全体的な特徴、その他)

教科用図書調査専門員会報告書

(小学校 家庭)

項目 発行者	教育基本法、学校教育法の下の小学校教育 学習指導要領の教科の目標とのかかわり	特 色 内 容
2 東 京 書 籍	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭ページで、2年間の学習内容が並べて表記されていることにより自分の成長が確認でき、2年間の家庭科学学習の内容が詳しく分かり、学習の見通しがもてるよう工夫されている。 ・買い物の題材では、自分だけでなく家族を意識して選択する場面が作られている。 ・長期休業の前に家族とのかかわりをテーマにした家庭実践ができるように、自由研究のコーナーが設定されている。 ・自分の考えを基に話し合いを促す場面や書き込み欄が多く、児童がそれぞれの考えを記入しながら学習を進められるため、言語活動の充実を図り、思考力・判断力・表現力の育成に役立つようになっている。 ・巻頭の家庭科学学習の紹介ページでは、既習の他教科の事項との関連が明記されている。 最初の題材では、「A家庭生活と家族」を踏まえ、1日の家庭生活の流れを時間軸で表現し、2年間の学習の全体像がつかみやすく工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「いつも確かめよう」や「これだけではできるようになろう」では、各題材で児童が学習する基礎的・基本的な知識・技能が分かりやすく示されている。 ・快適な住まい方の学習では、同学年の中で（6年生の1学期と3学期）寒暖の学習を、比較しながら進められるよう工夫されている。 ・最初の題材で、自分と家族、地域、社会とのつながりが分かりやすくまとめられている。また、家族とのコミュニケーションを深める方法としてティータイムが取り上げられている。 ・関連する内容について、時期を集中させて取扱うよう題材構成が工夫されている。 ・各題材の中で、児童が簡単に実験できる方法が数多く掲載され、自ら取り組みようとする意欲が高められるよう工夫されている。 ・安全や環境についての留意点が可能な限り工程表に盛り込まれて作業の流れと関連を図りやすい構成になっている。
9 開 隆 堂 出 版	<ul style="list-style-type: none"> ・5～6年の学習の流れに合わせた題材構成となっており、それぞれの学年での学習のまとめができるようになっている。 ・巻頭ページは、誕生から中学生までの成長と家庭科の学習との関係が図式化されており、家庭生活や自分の成長のかかわり意識しながら、2年間の家庭科学学習の見通しがもてるよう工夫されている。 ・活動後に振り返るコーナーを活用することで、家庭生活を見つめ大切にしようとしていくことができるようになっている。 ・チャレンジコーナーが取り組みやすい時期に設定され、家庭生活での実践に結び付けやすくなっている。 ・5年では家族の一員として自分ができるようになること、5年の最後には家族の団らん、6年では家族のために実践できることが、段階を追って設定されている。 ・「話し合おう」「考えよう」のコーナーを活用し、言語活動の充実が図られ、「調べよう」「やってみよう」のコーナーにより、実践する意欲や態度をはぐくむことができるようになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な生活の事例が取り上げられ、児童の気付きによる学習展開がしやすいよう工夫されている。 ・学習のポイントを押さえてあり、自己評価しやすい。 ・「できたかな」「ふり返ろう、生かそう」のコーナーでは、児童が学習内容の理解について確認することができ、教師は、評価に生かすことができるようになっている。 ・快適な住まい方の学習では、5年の3学期と6年の1学期の期間に寒暖の学習を比較しながら進められるようになっている。 ・「食」の内容では、安全や環境についてのコーナーが多く、配慮や注意をすべきポイントが分かりやすく示されている。 ・5、6年で、同じ題材が分散されて配列され、スパイラルな学習となるよう工夫されている。 ・「話し合おう」のコーナーが多く設定されており、児童の思考力・判断力・表現力が育成されるように工夫されている。 ・「考えよう」「調べよう」のコーナーでは、児童に実際に考えさせる場面や実験の条件が提示されており、学習が進めやすくなるよう工夫されている。

(小学校 家庭)

項目 発行者	特色		総括
	資料	表記・表現	
2 東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> ・「日本の伝統」「プロに聞く」というコラム欄を活用することにより、発展的な学習につながる工夫がなされています。 ・製作や調理などの作業手順や手元の写真が見やすく示されているなど、児童が活動しやすいように資料が掲載されている。 ・5年の題材で家庭科室の使い方を取り上げ、教科への関心が高められるよう工夫されている。 ・巻末に、野菜の切り方や布の縫い方などが改めて資料としてまとめられている。 ・左利きの場合について、右利き同様大きく扱っている。 ・題材のはじめに「学習のめあて」や「D O活動（体験的な活動）」が明記され、生活経験の有無にかかわらず課題意識がもて、学んだ知識を生かそうとする意欲が喚起できるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「関連」や「リンク」では、他教科との関連や家庭科学習の中の関連が一目で分かり、児童が学習を振り返りやすくなるよう示されている。 ・題材名が児童に親しみやすく工夫されている。また、領域ごとに色分けされ、見やすくなっている。 ・震災への対応として、日々の備えについての資料が示されている。 ・作業を伴う内容は、左から右への見開きで解説されていて、作業中でも見やすく示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・どの題材も3段階で問題解決的な学習が構成されており、それを繰り返すことにより、基礎的・基本的な知識・技能が着実に身に付けられるとともに、家庭での実践につながりやすくなっている。 ・児童が主体的に学ぶことができ、学習したことを家庭や生活の中で活用したり、自分の成長を実感したりすることができるように配慮されている。 ・裏表紙に保護者へのメッセージがあり、家庭での実践を促すことにより生きる力として定着するよう工夫されている。
9 開隆堂出版	<ul style="list-style-type: none"> ・製作や調理などは、基本的な指導事項を中心に豊富な写真資料が掲載され、技能を身に付けやすくする工夫がある。 ・基礎的・基本的な知識・技能の習得に役立つ資料集として活用できるように工夫されている。 ・製作では、はさみの渡し方の写真があり、安全面での指導がしやすくなるよう工夫されている。 ・枠外の「ひとロメモ」で、家庭科で使われる言葉が解説され、言語活動の充実が図られるよう工夫されている。 ・技能の習得を促す図が効果的に用いられ、児童が学習への意欲を高めることができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・解説の記述中に各種記号で関連やポイントが分かりやすく示されている。 ・脇の「爪見出し」は、関連題材を色分して示すなど、見やすくなる工夫がされている。 ・十種類のマーク（災害に備える工夫等）が使われ、児童に分かりやすく示されている。 ・製作や調理の資料や作業を伴う内容は、左から右への見開きで解説され、作業中でも見やすく示されている。 ・写真の活用が多く、より実物に近い状態が分かるように示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学年ごとにテーマを設定し、学習が積み上げられるように題材が構成、配列されているため、基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得や生活をよりよくしようとする実践的な態度を養うことができるようになっている。 ・児童が身近な生活の課題に目を向けたり、主体的に学ぶ力や創意工夫する力を養ったりするための、問題解決的な学習を通して、学習したことが家庭生活に生きるように工夫されている。

保健 調査資料 作成の観点

項 目	観 点	
教育基本法、学校教育法の下の小 学校学習指導要 領の教科の目標 とのかかわり	<p>○身近な生活における健康・安全に関する内容を実践的に理解することを通して、自らの生活行動や身近な生活環境における学習課題を把握できるよう配慮がなされているか。</p> <p>○生涯にわたって楽しく明るい生活を営む態度を育てるために、どのような工夫がなされているか。</p>	
特 色	内 容	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫></p> <p>○基礎的・基本的な知識を着実に習得させるために、どのような工夫がなされているか。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○知識を活用する学習活動を取り入れるために、どのような工夫がなされているか。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○個々の児童の理解の程度に応じた発展的な学習や、補足的な学習をしやすいように、どのような工夫がなされているか。</p> <p>○実践力の育成ができるように、どのような工夫がなされているか。</p> <p><さいたま市の目指す子ども像の具現化に向けた工夫></p> <p>○「豊かな心」をはぐくむために、どのような工夫がなされているか。</p> <p>○言語活動の充実を図るため、どのような工夫がなされているか。</p>
	資 料	<p>○児童の学習意欲を喚起する上で、どのような工夫がなされているか。</p> <p>○教科書の記述内容を理解する上で、どのような工夫がなされているか。</p> <p>○資料の新しさ、図表などの正確さは、どのようになっているか。</p>
	表記・表現	<p>○児童が理解しやすくするために、どのような工夫がなされているか。</p> <p>○脚注・注釈等によって理解を助けるために、どのような配慮がなされているか。</p> <p>○全ての児童にとって学習しやすいように、レイアウト等にどのような配慮がなされているか。</p> <p>○記号・用語などの正確さは、どのようになっているか。</p>
総 括	(全体的な特徴、その他)	

教科用図書調査専門員会報告書

(小学校 保健)

項目 発行者	教育基本法、学校教育法の下的小学校 学習指導要領の教科の目標とのかかわり	特 色	
		内 容	
2 東 京 書 籍	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領の改善の基本方針「保健の内容の体系化」に対応し、「つなげよう」を随所に設け、系統性をもった学習ができるように工夫されている。 ・「知識を活用する学習活動」を重視し、学んだ知識を基に、思考・判断・表現する活動「活用して深めよう」が随所に設けられている。 ・「身近な生活における健康・安全に関する基礎的な内容を重視する」観点から各章のはじめについては、学習活動が児童にとって身近なもの、取り組みやすいものに設定され、学習内容を実践的に理解できるように工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・基本的事項が本文の中に簡潔にまとめられ、各単元末には、学習内容を整理する場面が設けられて、基礎的・基本的な知識を確実に習得できるように工夫されている。 ・授業のハイライトとなる場面に、学んだ知識を基に、思考・判断・表現する活動「活用して深めよう」が設けられている。 ・「学習の課題」「学習活動」（「話し合ってみよう」「ふり返ってみよう」「考えてみよう」「活用して深めよう」）など個々の活動を言葉で明記し、学習の流れと活動内容がひと目で分かるように工夫されている。 ・課題の解決に結び付く視点やヒントを、キャラクターの吹き出し文で示し、児童が課題の解決に見通しがもてるように工夫されている。 ・学習活動として、仲間と話し合い、協力しながら課題を解決していく場面が多く設けられている。 	
4 大 日 本 図 書	<ul style="list-style-type: none"> ・「健康」という概念を、児童にとって身近な行動という観点から示し、学習に取り組みやすくなるように配慮されている。 ・1単位時間の終わりには、基本的に児童の学習した知識を基に実践できるように「活用」が設けられ、「生きる力」をはぐくむことができるようにしている。 ・学習指導要領の改善の基本方針に示された「保健の内容の体系化」を踏まえ、関連するページの下に「〇年生で学習したね」の欄が設けられ、系統的に理解できるように工夫がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どものキャラクターを用いて、学習課題へのヒントを与えたり、説明したりしている。また、専門家キャラクターや「コケンコー先生」のキャラクターを用いて、内容の科学的解説や補足説明をする工夫がされている。 ・「やってみよう」「話し合ってみよう」「調べてみよう」などの活動場面を授業の流れの中に設け、児童の能動的な思考や判断の活動を促すことによって、課題解決ができるように工夫されている。 ・各章の導入に、学習をナビゲートするゲームを提示し、児童がその章の学習への興味・関心を高め、積極的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。 ・課題解決へ向かうことができる活動の中で、日常生活で起こる人間関係や心の諸問題に積極的に対処できるコミュニケーションスキルなどのライフスキルが身に付くように工夫されている。 	

(小学校 保健)

項目 発行者	特色		総括
	資料	表記・表現	
2 東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動に対して児童がイメージをつかみやすいように見やすく効果的なイラストや写真を豊富に用いている。 ・基礎的・基本的な知識の定着を図るため、押さえておきたい言葉の解説欄、まとめ知識の資料が単位時間ごとに表記されている。 ・各章末に児童の興味関心に応じて学習を深めるための補助資料が設けられている。 ・ホームページアドレスが掲載しており、調べ学習や発展学習を支援している。 ・「けがの防止」の「けがの手当」では、「まめちしき」として、AEDが紹介されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的に1単位時間1見開きになっていて、見通しをもって学習できるように構成されている。 ・基本的に学習活動が「ふり返ってみよう」→「やってみよう」→「話し合ってみよう」→「考えてみよう」→「活動して深めよう」という流れで構成されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「学習の課題」が明確で個々の「学習活動」が分かりやすく示され、1時間の学習の流れと活動内容がひと目で分かるように工夫されている。 ・授業のハイライトとなる場面には、「活用して深めよう」が設けられ、思考力・判断力・表現力を育成する工夫がなされている。 ・基礎的・基本的事項が本文の中に簡潔にまとめられており、各単元末には、「学習をふり返ろう」の場面が設けられて、基礎的・基本的な知識を確実に習得できるように工夫されている。
4 大日本図書	<ul style="list-style-type: none"> ・内容の理解に役立つような資料を「しりょう」、さらに理解を深められるような発展学習を「はってん」として、豊富な資料が載せられている。 ・「けがの防止」の「けがの手当」の学習の中で大きなけがをした人を発見したときの対応の仕方がイラストで分かりやすく示され、「はってん」としてAEDが紹介されている。 ・各ページに「ミニちしき」が掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習課題に沿って「やってみよう」「話し合ってみよう」「調べてみよう」「活用」など活動場面が記号によって統一され、分かりやすく示されている。 ・「課題把握・発見」→「思考・判断・表現活動」→「まとめ(理解)」→「活動(実践)」と学習の流れが分かりやすく構成されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「課題把握・発見」→「思考・判断・表現活動」→「まとめ(理解)」→「活動(実践)」と学習の流れが分かりやすく構成されている。 ・各章の導入に、学習をナビゲートするゲームを提示し、児童がその章の学習への興味・関心を高め、積極的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。 ・内容の理解に役立つような資料を「しりょう」、さらに理解を深められるような発展学習を「はってん」として、豊富な資料を掲載している。

教科用図書調査専門員会報告書

(小学校 保健)

項目 発行者	教育基本法、学校教育法の下の小学校教育指導要領の教科の目標とのかかわり	特 色	
		内 容	
207 文 教 社	<ul style="list-style-type: none"> ・習得した知識を実践につなげたり、道徳心を培うことができるような実習やブレインストーミングを取り入れたりして、より理解が深まるように工夫されている。また、脚注での「つぶやきくん」の言葉などで、さらに知識を広げ、それとともに、まわりの人たちへの感謝の気持ちなどを理解することができるように工夫されている。 ・単元末に「これからの自分へ」として、実践への意欲付けを図る実践課題を記入する欄が設定され、習得した知識を実践につなげられるような工夫がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保健室の先生や警察官などのキャラクターが児童の気付きや調べ学習では分かりにくい点を提示し、基礎的・基本的な知識を確実に習得できるようにしている。 ・実習、ブレインストーミング、自分で考える活動を取り入れ、児童の思考力・判断力・表現力を育成する工夫がされている。 ・各単元の初めの動機付けのページには、各学年に応じた作業や資料を提示して、児童が単元の見通しをもつとともに、意欲的に学習に取り組むことができるような構成がされている。 ・周りの人に支えられているという感謝の気持ちをもちながら学習できるように、脚注に「つぶやきくん」の欄が設けられ、児童の心に響く言葉や声掛けが工夫されている。 	
208 光 文 書 院	<ul style="list-style-type: none"> ・習得すべき基礎・基本的な知識や原理・原則などの学習内容が、「つかむ」のコーナーとして明確に位置付けられている。 ・「つかむ」のコーナーなどで習得した知識を“活用”して課題解決するための学習活動を、「思考・判断・表現」に合わせて3パターン設定する構成がされている。 ・生涯を通じて自らの健康を管理し、改善していく資質や能力の基礎を養うことができるように、「習得・活用」以外にも「食育」「他教科・他学年との関連」等様々なマークがあり、児童の学習意欲を高めたり理解を深めたりする工夫がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・基本的な知識が確実に習得できるように、「つかむ」のコーナーが、位置付けられている。 ・「つかむ」のコーナーで習得した知識を基に、思考力・判断力・表現力の3つの力を育成できるように3種類のコーナーを設けるなどの工夫がされている。 ・児童の主体的な学習活動を促すために、児童や養護教諭、学校医などのキャラクターが児童目線で、専門的な立場から学習内容について身近に感じさせたり、的確な助言をしたりする工夫がされている。 ・食育の観点を重視し、各学年の学習内容に関連して、食育関連の内容を扱っている。 ・自分の経験や考えを基に、話し合う活動を設定している。 	

(小学校 保健)

項目 発行者	特色		総括
	資料	表記・表現	
207 文 教 社	<ul style="list-style-type: none"> ・課題追究に必要な写真・イラスト・グラフなどの資料が各活動の中に分かりやすく提示されている。 ・「けがの防止」の「けがの手当」の学習の中で大きなけがをした人を発見したときの対応の仕方が、具体的で分かりやすく示され、紙面も大きく割かれている。その「発展」としてAEDが紹介されている。 ・「情報コーナー」や「発てん」など、児童の学習理解を深めるための資料が充実している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の理解を深めるために黄色を背景にまとめの文章が分かりやすく示され、さらに大切な言葉が太文字で書かれている。 ・「やってみよう」「考えてみよう」「調べてみよう」「話し合ってみよう」「こんなときあなたなら」で、児童の学習活動を分かりやすく示している。 ・児童が主体的に学習できるように「動機付け」→「課題解決」→「実践への意欲付け」という学習の流れが分かりやすく示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が主体的に学習できるように「動機付け」→「課題解決」→「実践への意欲付け」という学習の流れが分かりやすく示されている。 ・児童の学習課題に対する理解を深めるために、黄色を背景にまとめの文章が分かりやすく示され、さらに大切な言葉が太文字で書かれている。 ・2人の男女の子どものキャラクターの会話を読みながら学習を進めることによって、協力が大切であることを意識させている。また、自分の課題として考えたり、全体の課題として話し合ったりすることができるよう工夫されている。
208 光 文 書 院	<ul style="list-style-type: none"> ・イラスト、図表、写真等、知識の習得を促進する資料が数多く掲載されている。 ・AEDは、5年の「けがの防止」の中では、紹介されていないが、6年の「病気の予防」の発展学習の中で示されている。 ・発展的な学習内容や今日的課題を「発展」のコーナー、「保健の広場」で豊富に扱い、学習に広がりをもたせる工夫がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習で押さえない言葉が太字で示されている。 ・文章は分かりやすく、簡潔な記述にしている。未習の漢字や、その学年で初めて習う漢字、専門用語には、見開き単位でふりがなが付けられている。 ・活動マークを活用して、学習の流れを分かりやすくしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・基本的な知識が確実に習得できるように、「つかむ」のコーナーが、位置付けられている。 ・「つかむ」で習得した知識を基に、活用して課題解決するためのコーナーが「学んだことをあてはめよう」(思考)、「学んだことをもとに見つけよう」(判断)、「学んだことをもとにつたえよう」(表現)という3パターンで設けられ、思考力・判断力・表現力を育成できるように工夫している。 ・学習内容を理解させるために、様々なマークやキャラクターを用いたり、文字の大きさを工夫したりするなど、読みやすさを追究されている。

教科用図書調査専門員会報告書

(小学校 保健)

項目 発行者	教育基本法、学校教育法の下の小中学校 学習指導要領の教科の目標とのかかわり	特 色	
		内 容	
224 学 研 教 育 み ら い	<ul style="list-style-type: none"> ・保健の系統性が重視されていることから、運動領域や他教科との関連が図られている。 ・健康や安全に関する知識の実践的な理解を重視していることから、生活や経験を振り返る活動や実験、実習などの活動が豊富に取り上げられ、実践的な理解を促すように工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習導入時に「ここで学ぶこと」の項目で学習内容を明確に示したり、各章末の「学習のまとめ」で、知識・理解、関心・意欲・態度などの自己評価をして学習を振り返ったり、「ことば」で押さえておきたい用語の解説を取り入れたりすることで、基礎的・基本的な知識を確実に習得できるようにしている。 ・習得した知識を活用できるように1単位時間の最後に「かつよう」のコーナーが設けられ、自分で考え、判断する力を育成できるように工夫されている。 ・児童が主体的に探究的学習を行えるように現代的な健康課題や話題を取り上げたり、ロールプレイを取り入れたりして、児童の関心に応える工夫がされている。 ・グループでの活動が推奨されるものにマークを付け、話し合いなど協同学習として取り組みやすい課題が積極的に取り入れられている。 	

(小学校 保健)

項目 発行者	特色		総括
	資料	表記・表現	
224 学 研 教 育 み ら い	<ul style="list-style-type: none"> ・見やすく、児童にイメージをもたせやすいイラストが豊富に使われている。 ・探究的な学習がしっかり行えるように、「もっと知りたい、調べたい」として十分なページを割き、資料が豊富に掲載されている。 ・AEDの重要性や心肺蘇生法を身に付ける方法が具体的に示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1単位時間を見開きの2ページで構成することで学習の流れがつかみやすくなっている。 ・様々なキャラクターのつぶやきやマーク、コラムで、詳細な情報や学習のポイントが示されている。 ・自分の考えを書き込ませることで、自分だけの教科書を作り、自ら学ぶ姿勢を養うための工夫がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習導入時に学ぶことが分かりやすく提示され、1単位時間が見開き2ページで構成されていて、学習の見通しがもちやすい工夫がされている。 ・児童が自ら考えて学習に取り組める工夫として、書き込みのスペースを設けたり、様々なキャラクターやコラムを掲載したりして、主体的な学習ができるような構成がされている。 ・各章末の「学習のまとめ」で、自己評価をして学習を振り返ることで、基礎的・基本的な知識を確実に習得できるようにするとともに、今後の生活に生かす工夫もされている。